



取扱説明書

お客様へ…お買いあげ年月日、お買いあげ店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

●お買いあげ年月日	年	月	日
●お買いあげ店名			
	電話 ()		

日本アビオニクス株式会社

お問い合わせ先

ヴィジョン・プロダクツ 株式会社
 カスタマサポートセンター
 〒 253-0103 神奈川県高座郡寒川町小谷^{コヤト} 2-1-1
 フリーダイヤル TEL 0120-175411
 mailto: support_ip@avio.co.jp

営業本部 〒 141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-5 五反田光和ビル
プロジェクト営業部 TEL (03)5436-0622

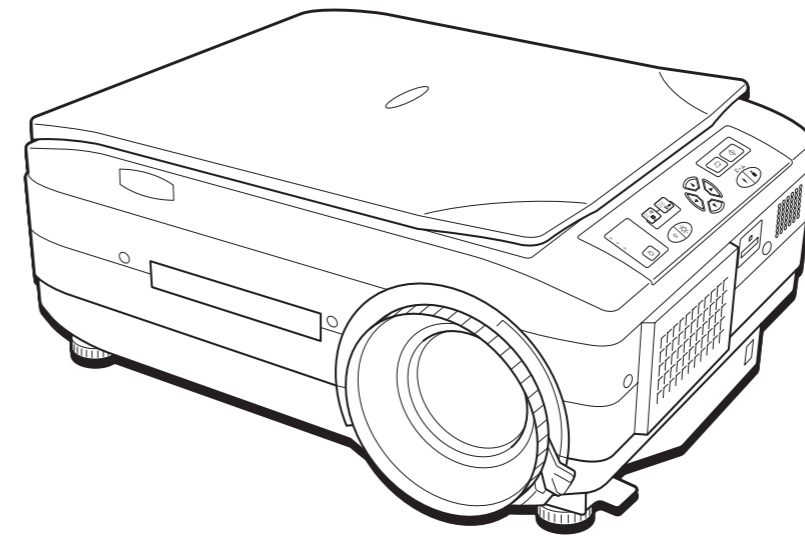
名古屋支店 〒 460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-6 ナカトウ丸の内ビル
 TEL (052)951-2926 (代表)

大阪支店 〒 532-0011 大阪市淀川区西中島 1-11-16 住友商事淀川ビル
 TEL (06)6304-7361 (代表)

福岡支店 〒 812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 8-36 博多ビル
 TEL (092)411-7371 (代表)

●環境保護のため再生紙を使用しております。

7001223-R01 ①



付属の取扱説明書のご案内

本機の機能を十分に活用していただくために、下記の取扱説明書を用意いたしました。目的にあわせて取扱説明書をお選びください。

■ iP-65 取扱説明書 (本書)

プロジェクタ (iP-65S/iP-65B) の操作・取扱いについて記載しています。

■ iP Viewer ソフトウェアクイックリファレンス

プレゼンテーションソフトウェア「iP Viewer」の簡易的な取扱いについて記載しています。(※)

■ iP Viewer ソフトウェア取扱説明書 (PDF 形式)

クイックリファレンスよりも詳しく説明しています。用途に合わせてご使用下さい。(※)

「iP Viewer ソフトウェア取扱説明書」の見方については、59 ページの「iP Viewer ソフトウェア「取扱説明書」を見るには」をご覧ください。(※)

(※) iP Viewer は iP-65S モデルのみの機能です。



日本アビオニクス株式会社

プレゼンテーションソリューションを提供する

Intelligent
Projector

iP-65S / iP-65B
iP-65

はじめに

このたびは、日本アビオニクスの製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

本機の特長

● とっても便利な 1 台 6 役。マルチメディアプロジェクタの進化形

1. 資料やカタログなどの印刷物をそのまま投写。OHP 専用フィルムを作成することなく、印刷物を直接投写できます。
2. パソコン画面を投写
パソコンを利用したキメ細かなプレゼンテーションができます。
3. ビデオや DVD などの映像もそのまま投写。視覚に訴えかけるプレゼンテーションが実現できます。
4. USB 接続したパソコンへ投映像を取り込めます。(※ 1)
5. パソコンにスキャンした画像へタブレットなどで自由に書き込みながら投映できます。(※ 1)
6. SD メモリーカードを用いて PC レスでプレゼンすることができます。(※ 1, 2)
(※ 1) iP-65S モデルのみの機能です。
(※ 2) SD メモリーカードへは iP Viewer Tool を使用し、保存する必要があります。

● だれでも、わかりやすい簡単操作

印刷物、パソコン画面、ビデオ映像の投写は、ボタンひとつで簡単に切り換えることができます。

● コストパフォーマンスに優れた省資源設計

OHP 専用フィルムの作成が不要ですので、ムダな時間や経費を削減できます。

● 表現力豊かなカラー画像

分解能の高い 413 万画素単板カラー CCD カメラを内蔵。カラー原稿の微妙な中間色も、1677 万色のフルカラーで忠実かつ鮮明に再現します。

● スクリーンサイズを変えずに拡大表示

カタログ、ワープロ原稿など、プレゼンテーション用に作成されていない小さな文字の資料を投写するときには、スクリーンサイズを変えずに原稿を拡大して、見やすく表示することができます。

● パソコン画面の圧縮、拡大表示機能搭載

解像度 1024 × 768 を超える画像は、文字が欠けることなく 1024 × 768 に圧縮して表示します。また、640 × 480 などの画面は 1024 × 768 に拡大して表示できます。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示は、重要なことからについて次の絵表示を使って注意を呼びかけています。製品を安全に正しくお使いいただくために、絵表示と注意内容を理解した上で、取扱説明書をお読みください。



警告

この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この注意を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△の絵記号は、注意（警告含む）をうながす内容を示します。
図の中に、具体的な注意事項（左図では感電注意）が描かれています。



⊘の絵記号は、禁止されている行為を示します。



⊘の絵記号は、禁止されている行為を示します。
図の中に、具体的な禁止内容（左図では内部に手を触れない）が描かれています。



●の絵記号は、強制や指示される行為を示します。
図の中に、具体的な指示内容（左図では電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

使用上のご注意（必ず守ってください）



警告

故障したときは



電源プラグをコンセントから抜く

- 本機から煙が出たり、変なおいや音がするときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。故障したまま使用を続けると危険です。お買い求めになった販売店に修理を依頼してください。

内部に異物が入らないよう配慮を



- 通風口などから内部に金属片や燃えやすいものが入らないように注意してください。
- 水の入った容器を本機の上やそばに置かないでください。

内部に異物が入ったときは



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、水や金属片などの異物が本機の内部に入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると危険です。お買い求めになった販売店に点検を依頼してください。

本体を分解しない



- 本体を分解しないでください。内部には一部電圧の高いところがあり、触れると感電・故障の原因になります。

電源コードはたいせつに



- 電源コードの上に重いものを置かないでください。コードに傷がついて、断線・火災・感電などの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、コードをひっぱらないでください。コードをひっぱるとコード内部で断線することがあり、火災・感電などの原因になります。必ずプラグ部分をつかんで抜いてください。



電源コードが傷んだら販売店へ交換依頼を

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線等）販売店に交換（有料）をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

レンズをのぞかない



- 本機の動作中は、レンズから中をのぞかないでください。動作中はレンズを通して強い光が投写されており、目を痛める原因になります。

通風口に顔を近づけない



- ランプが破裂したときに粉塵やガスに含まれる水銀が目や口に入る場合がありますので、通風口に顔を近づけないでください。けがの原因となることがあります。（目に異物が入った場合は、お近くの病院の診察をお受けください。）

警告

不安定なところには置かない



不安定な設置禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



水平設置以外では点灯させない

- 装置を水平以外の逆さま・上向き・横向き・下向きの状態で点灯させないでください。火災やランプ破裂の原因となることがあります。

表示以外の電圧で使用しない



交流 100 ボルト以外使用禁止

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外での電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ガラス面に衝撃を与えない



- 資料読み取り部のガラス面は、衝撃を与えないよう注意してください。場合によっては、ガラスが割れてけがの原因となります。

本機の上に乗らない・重い物を置かない



- 破損・故障の原因となりますので本機の上に乗ったり、重い物を載せないでください。場合によっては、ガラス面が割れてけがの原因となります。

高温注意



- 点灯中や消灯直後は、通気孔やランプカバー及び周囲の表面が熱くなります。長時間の接触は避けてください。
- プロジェクタの排気口付近は大変熱くなりますので、熱に弱い素材のテーブルやデスクマットの上に置かないでください。

レンズの前をふさがない



- 本機の動作中は、レンズの前をふさがないでください。動作中はレンズを通して強い光が投写されており、レンズ前を物や手でふさぐと、火災ややけどの原因となります。
- 投写中は必ずレンズキャップを外してください。レンズキャップが変形する恐れがあります。

SD メモリーカードについて



禁止

- 小さなお子様の手が届くところにメモリーカードを置かないでください。誤って飲み込むと窒息する恐れがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

設置場所について



- 次のような場所での使用はお避けください。
 - ・ 熱に弱い材質のテーブルまたはデスクマットの上
 - ・ 強い振動や衝撃が加わる場所
 - ・ 油煙や湯気があたる場所
 - ・ 直射日光があたる場所、熱器具などの近くで熱くなる場所（35℃以上）
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 極端に寒い場所（0℃以下）
 - ・ 強力な磁界、電界を発生するものの近く
 - ・ ぐらついたり、ゆれたりする不安定な場所

通風口をふさがない



- 布やものなどで通風口をふさがないでください。
本機のまわりにもものを置くときは、通風口との間に10cm以上のすきまをあけてください。本体側面の通風口に紙や布などが吸い付かないようにしてください。内部の温度が上昇し、動作が異常になることがあります。

強い衝撃を与えない



- 持ち運びや取り扱い時に、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

お手入れについて



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一の事故を防ぐため、お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



- レンズの表面は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパーを使ってお手入れしてください。
ティッシュペーパーやハンカチなどでふくと、レンズを傷つける原因になります。
- キャビネット、操作パネル部分、ガラス面の汚れは、柔らかい布で軽くふいてください。特に汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませてからよく絞ってふきとり、乾いた布でからぶきしてください。



- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品で本機をふかないでください。
表面が変質したり、塗装がはがれたりすることがあります。
化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

ガラス面を傷つけない



- 資料読み取り部のガラス面を、固いものや鋭利なものでこすらないでください。
ガラス面に傷がつくと投写映像が悪くなることがあります。

電池について



プラス⊕とマイナス⊖の向きを間違えないように

- 電池をリモコンに入れる場合、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指定されていない電池は使用禁止

- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。
電池の破裂・液漏れにより火災・けがの原因となることがあります。



- 電池を、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

結露について



- 急激に温度差の大きい場所へ本機を移動させると本体に水滴が付着（結露）します。
結露の状態での投写は故障の原因となります。

注意

点検・清掃について



内部の掃除は販売店で

- 一年に一度を目処に、内部の掃除を販売店などにご相談下さい。
内部の掃除は、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうとより効果的です。
長い間掃除をしないと本機の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因となることがあります。
内部掃除費用につきましては販売店などにご相談下さい。

長期間使わないとき



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間お使いにならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

廃棄について



- 本機の廃棄については各自治体の廃棄方法に従ってください。

輸送について



- 本機を輸送する場合は必ず専用の梱包箱を使用してください。他の梱包箱を使用され破損等の事故がおきましても当社は責任を負いかねます。
- 専用の梱包箱は繰り返し使用すると緩衝効果が減少し、本機の破損等の事故につながりますので繰り返し使用は2回までとしてください。
また、使用済の梱包箱の廃棄は各自治体の廃棄方法に従ってください。
- チルトフットは完全に収納してから輸送してください。
- 運搬用収納ケースが必要となった場合は販売店にご相談ください。

ランプの破裂について

- 本プロジェクトでは、高圧水銀ランプを採用しておりますが、ごくまれに使用中に破裂することがあります。破裂に至るまでの時間は高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。また、1500時間を超えると、破裂の確率が高くなるため、強制的にランプを消灯するようにしています。(51、53ページ参照)



下記の事項にご注意願います！

- ランプが破裂すると、大きな音がいたします。これは、高圧水銀ランプ内の圧力が非常に高いために生じます。その際、ランプ破裂によるガラスなどの粉塵が、通風口から外に出る恐れがあります。ご使用の際は、通風口周辺の装置真後ろに顔を近づけないでください。
- ランプが破裂すると、ランプ内のガスが通風口から外に出て白い煙のように見えますが、火災などの心配はありません。但し、ランプ内のガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉を開ける等の処置を行ってください。また、万一、ガスを吸い込んでしまった場合には、速やかに医師にご相談ください。

処置

- ご使用中にランプが破裂した製品は、ランプ破片が製品内部に散乱している可能性がありますので、ランプ交換せずに、ご購入時の販売店、代理店等にご返却ください。ランプが破裂した場合、お客様によるランプ交換はおやめください。ランプ破片等によりけがの原因となります。

ランプ交換について



- 動作中や停止直後にランプユニットを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。ランプユニットの交換は、ランプを消灯し、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上経ってから行なってください。ランプユニットの交換手順につきましては51ページ「ランプユニットの交換」をお読みください。
- ランプユニットの廃棄については一般家庭用の蛍光灯と同分類とし各自治体の廃棄方法に従ってください。

⚠ 注意

エアフィルタの清掃について



- エアフィルタを取りはずすときは、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。冷却ファン回転中に取りはずすと、けがの原因となることがあります。エアフィルタの清掃手順につきましては 54 ページ「エアフィルタの清掃」をお読みください。

次のようなところは故障・事故の原因



- プロジェクタを水平に調節するときは本体が傾かないように脚（チルトフット）を調節してください。傾いた状態で使用すると本体が転倒してけがの原因となることがあります。調整手順につきましては 27 ページ「チルト（傾斜）を調整する」をお読みください。

次のようなことはしない



禁止

- プロジェクタの上に重いものを置かないでください。
- プロジェクタやプロジェクタの置かれている台またはスタンドにのらないでください。またプロジェクタにつかまったり、ぶらさがったりしないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭や場所ではご注意ください。
- キャスター付き台にプロジェクタを設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ランプの ON、OFF は時間（1 分以上）をおいてから行ってください。電源を入れた直後はランプに非常に高い電圧がかかります。そのためランプの ON、OFF を短時間に繰り返すとランプの劣化および破損・プロジェクタの故障の原因となります。
- レンズキャップをしたままの映像投映は行わないでください。
- エアフィルタを取り外して使用しないでください。故障や破損の原因となります。
- フォーカス調整リングをつかんで持たないでください。故障や破損の原因となります。

持ち運びについて



- 据置きでのご使用を想定しております。
 - ・ 本体取手を持って移動する場合は、ガラス面に注意し持ち運んでください。また、本体は水平となるように置いてください。
 - ・ 資料カバーは十分に差し込まれていないと持ち運びの際、外れる場合があります。
 - ・ 振り回したり、乱暴な取扱いは避けてください。

電源コード・電源プラグについて



熱器具を近づけない

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手は危険

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



アース接続

- 必ずアース接続を行ってください。アース接続は必ず、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから切り離してから行ってください。



移動するときは接続線ははずしてから

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、盗難防止用ロックをはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。

光源ランプ及びその他の光学部品について

- 光源ランプ及び液晶パネル等の光偏光素子は寿命部品です。長時間使用された場合は修理交換が必要となります。詳しくはカスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

⚠ 注意

添付品 SD メモリーカードについて



禁止

- 水に濡らしたり、濡れた手で触れたりしないでください。感電や火災、故障の原因になります。
- 端子部分に直接手で触れたり、金属を当てたりしないでください。静電気により、記録されているデータが破損・消失する恐れがあります。
- 高温・多湿な場所、結露する場所、チリやほこりの多い場所、スピーカのような強い磁気の発生源に近い場所、静電気や電氣的ノイズの発生しやすい場所でのご使用や保管は避けてください。
- 折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでください。
- 分解や改造は絶対にしないでください。
- データの書き込み／読み出し中に機器の電源を切ったり、機器から SD メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破損・消失する恐れがあります。

添付品 SD メモリーカードのご使用方法について

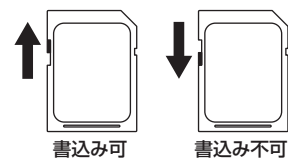


指示

- 機器へ装着するときは、機器に合わせてメモリーカードの表・裏を確認し、機器のスロットに奥までしっかりと差し込んでください。
- メモリーカードを取り出した後、2、3秒間は再挿入しないでください。メモリーカードが正しく認識されない場合があります。
- iP-65S は FAT16 形式のフォーマットに対応していません。メモリーカードをフォーマットする場合は、必ずメモリーカードをご使用になる機器から行なってください。パソコンで FAT32 形式でフォーマットしたメモリーカードは、プロジェクトで使用できなくなる場合があります。
- データの書き込みを禁止したり、誤消去を防止したりするには、該当するスイッチを操作してください。
- メモリーカードに記録されているデータの回復作業については、お受けしておりません。重要なデータについては随時、ハードディスクなどの別メディア上にバックアップを作成するようにしてください。
- iP-40S で SD カードに保存したデータは iP-65S では使用できません。また、iP-65S で保存したデータは iP-40S では使用できません。
- お客様が記録された他人の著作物は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上の権利者に無断で使用することはできません。

※ 書き込み防止（ライトプロテクト）について

SD メモリーカードは、カード側面のライトプロテクトスイッチの切り替えによって書き込みを禁止することができます。



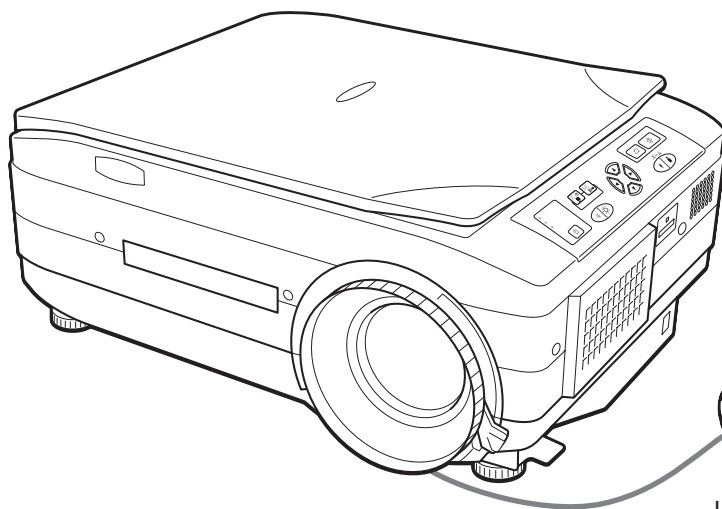
目次

絵表示について.....	4	内蔵メモリーやSDメモリーカードの画像を使ってプレゼンテーションを行う.....	32
使用上のご注意(必ず守ってください).....	5	内蔵メモリーの画像を使ってプレゼンテーションを行う.....	32
目次.....	11	SDメモリーカードの画像を使ってプレゼンテーションを行う.....	34
添付品や名称の確認.....	12	取り込んだ画像を転送する.....	36
添付品の確認.....	12	音量を調整する.....	36
各部の名称とはたらき(本体).....	13	ポインターを表示する.....	37
各部の名称とはたらき(入出力端子部).....	15	投写画面と音声を消す.....	37
各部の名称とはたらき(操作パネル).....	16	OHP 操作の方法.....	38
各部の名称とはたらき(リモコン).....	17	資料カバーの取付け.....	38
リモコンの操作について.....	18	投写原稿の準備.....	38
電池の交換のしかた.....	18	投写原稿の読み取りサイズ.....	38
投写までの手順.....	19	メニューの構成.....	39
投写距離と画面サイズ.....	20	メニューの操作方法.....	40
パソコンとの接続.....	21	メニュー操作で使うボタンの名称とはたらき.....	40
基本的な接続.....	21	メニュー各部の名称とはたらき.....	40
パソコンと接続する.....	22	メニューの操作方法.....	41
パソコン入力端子について.....	22	メニュー説明.....	43
パソコン画面の映像が投写されない場合.....	23	ポインタ・画面設定.....	43
入力信号対応表.....	24	履歴メニュー.....	44
映像機器(ビデオ・DVDプレーヤー等)との接続.....	25	映像調整.....	45
電源コードの接続と入/切.....	26	設置設定.....	47
電源を入れる.....	26	保守.....	49
電源を切る.....	26	異常保護.....	49
投写画面の調整.....	27	ランプユニットの交換.....	51
投写画面を調整する.....	27	エアフィルタの清掃.....	54
フォーカス/ズーム調整をする.....	27	故障かな...と思ったら.....	55
チルト(傾斜)を調整する.....	27	保証と修理サービス.....	56
通常の操作.....	28	仕様.....	58
入力を選ぶ.....	28	iP Viewerソフトウェア「取扱説明書」を見るには..	59
投写画面の向きを変える.....	28		
投写画面を拡大/縮小する.....	29		
明るさを調整する.....	30		
投写画面を取り込む/静止画表示にする.....	31		

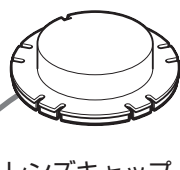
添付品や名称の確認

添付品の確認

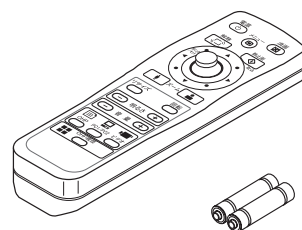
添付品の内容をご確認ください。



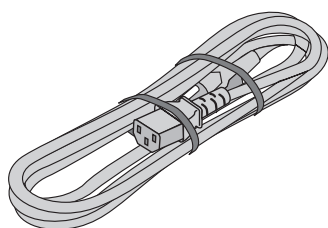
プロジェクタ
iP-65S / 65B



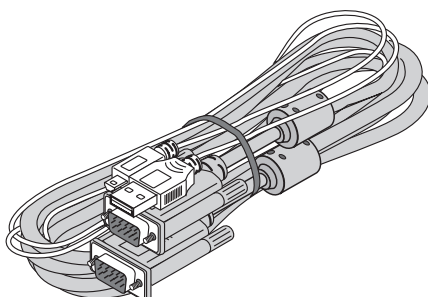
レンズキャップ



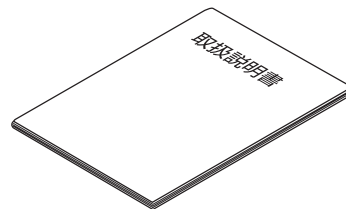
リモコン
電池 (単3 × 2)



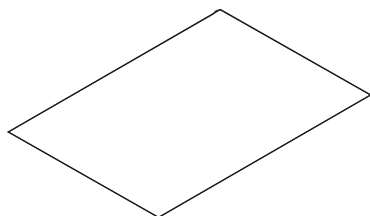
電源コード (3m)



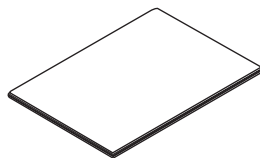
PC 接続ケーブル (2m) (*)
(*) iP-65B は USB ケーブルを含みません。



iP-65 取扱説明書



ユーザー登録・保守サービス案内



iP Viewer
ソフトウェアクイックリファレンス (*)
(*) iP-65S のみ添付されています。



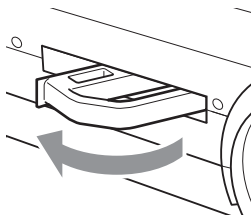
SD メモリーカード (Class2)
(容量: 1GB、型名: AV-SDSDC1GB)
(*) iP-65S のみ添付されています。

各部の名称とはたらき（本体）

取手

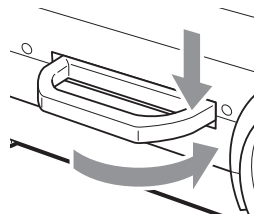
■取出し時

取手左側を軽く押して、180°回転させて取手を出してください。



■収納時

取手右側を下に押しながら回転させて収納してください。



資料カバー

このカバーの下に資料・印刷物の読み取り部があります。

▶ 38 ページ参照

操作パネル

操作するためのボタンが並んでいます。

▶ 16 ページ参照

スピーカー

SDメモリーカード挿入口・SDメモリーカードアクセスLED

通風口 A

[エアフィルタ] (本体側面)
この部分から空気を吸い込みます。粉塵が内部に入らないようにエアフィルタが入っています。

▶ 54 ページ参照

リモコン受光部

チルトフット

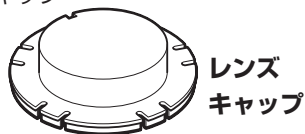
フォーカス調整リング

ここを回してフォーカスを合わせます。

▶ 27 ページ参照

投写レンズ

ここから映像が投写されます。
※投写中は必ずレンズキャップを外してください。



レンズキャップ

ズームレバー

ここを回して画面サイズを合わせます。

▶ 27 ページ参照

盗難防止用ロック

下記の「お知らせ」をご覧ください。

チルト調整レバー

ここを押して、チルトフットを調整します。

▶ 27 ページ参照

チルトフット

投写する上下角・左右のバランスを調整するための脚です。左に回すと伸び、右に回すと縮みます。

▶ 27 ページ参照

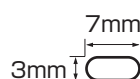


注意

- 本機の動作中は、レンズの前をふさがないでください。動作中はレンズを通して強い光が投写されており、レンズ前を物や手でふさぐと、火災ややけどの原因となります。
- 投写中は必ずレンズキャップを外して下さい。レンズキャップが変形する恐れがあります。

お知らせ

盗難防止ロックについて



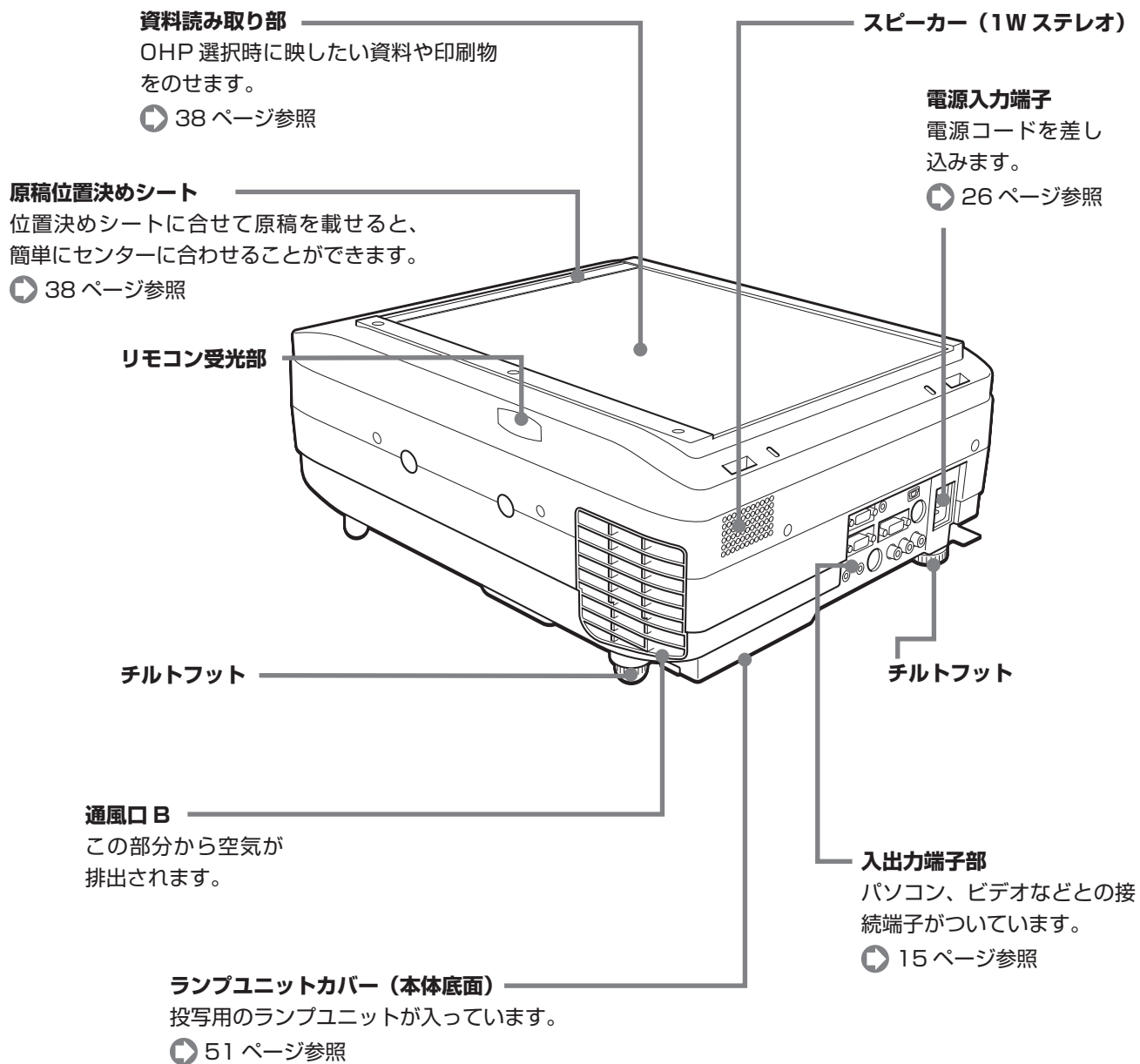
盗難防止用ロックは、スマートケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についての連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社

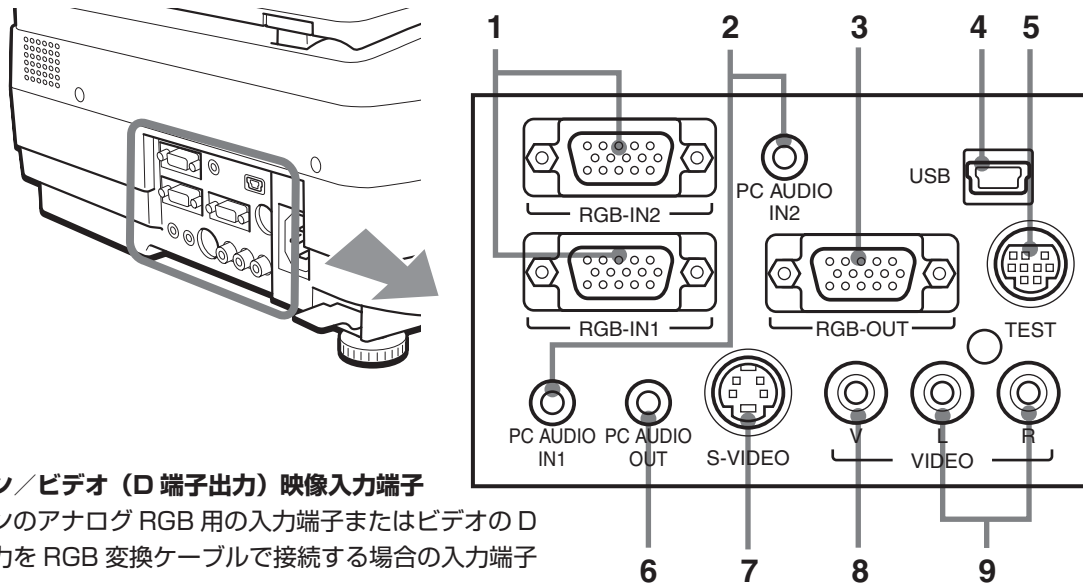
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1 丁目 5-2 はごろもビル 5F

Tel:03-3537-1070 Fax:03-3537-1071

<<http://www.poladigital.co.jp/>>



各部の名称とはたらき（入出力端子部）



1. パソコン／ビデオ（D 端子出力）映像入力端子

パソコンのアナログ RGB 用の入力端子またはビデオの D 端子出力を RGB 変換ケーブルで接続する場合の入力端子です。

▶ 21、22 ページ参照

2. パソコン音声入力端子

パソコン用の音声入力端子です。パソコンは 2 台接続できます。（ステレオ対応）

▶ 21、22 ページ参照

3. 映像出力端子

OHP 選択時は、OHP 画像が出力されます。PC、ビデオ入力選択時は、入力されたパソコン映像がそのまま出力されます。スタンバイ時は、RGB-IN1 に入力されたパソコン映像がそのまま出力されます。

▶ 25 ページ参照

4. USB 端子^(※)

パソコンとの USB 接続用の端子です。

▶ 「iP Viewer ソフトウェア取扱説明書」をご参照ください。

(※) iP-65S のみの仕様です。

5. テスト（保守）用端子


保守および社内テスト時に使用される専用端子です。他の接続には使用できません。

● SD メモリーカードのセットと取り出し^(※)

SD メモリーカードをセットする

1. SD メモリーカードの表面を上にして SD メモリーカード挿入口に「カチッ」と音がするまで真っ直ぐ、奥まで押し込んで下さい。

SD メモリーカードを誤った方向のまま無理に押し込むと、本製品または SD メモリーカードの故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

（画面に SD アイコン  が表示されてから操作を行って下さい）

SD メモリーカードを取り出す

1. SD メモリーカードを「カチッ」と音がするまで押すと、SD メモリーカードが少し出てきます。

2. SD メモリーカードをまっすぐ、ゆっくり引き抜きます。

お知らせ

SD メモリーカードのカードの抜き差しは OHP 入力に切り替えてから行って下さい。

(※) iP-65S のみの仕様です。

6. 音声出力端子

プロジェクタの音声出力端子です。入力選択している音声（パソコン／ビデオのいずれか）を出力します。スタンバイ時は、パソコン音声が出力されます。OHP 選択時は、パソコン音声が出力されます。

▶ 25 ページ参照

7. S ビデオ映像入力端子

ビデオ（Y/C）用の入力端子です。

▶ 25 ページ参照

8. ビデオ映像入力端子

ビデオ（NTSC/PAL/SECAM）用の入力端子です。

▶ 25 ページ参照

9. ビデオ音声入力端子

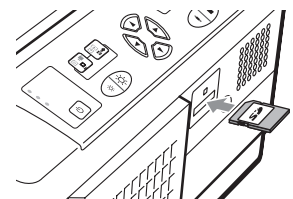
ビデオ用の音声入力端子です。（ステレオ対応）

▶ 25 ページ参照

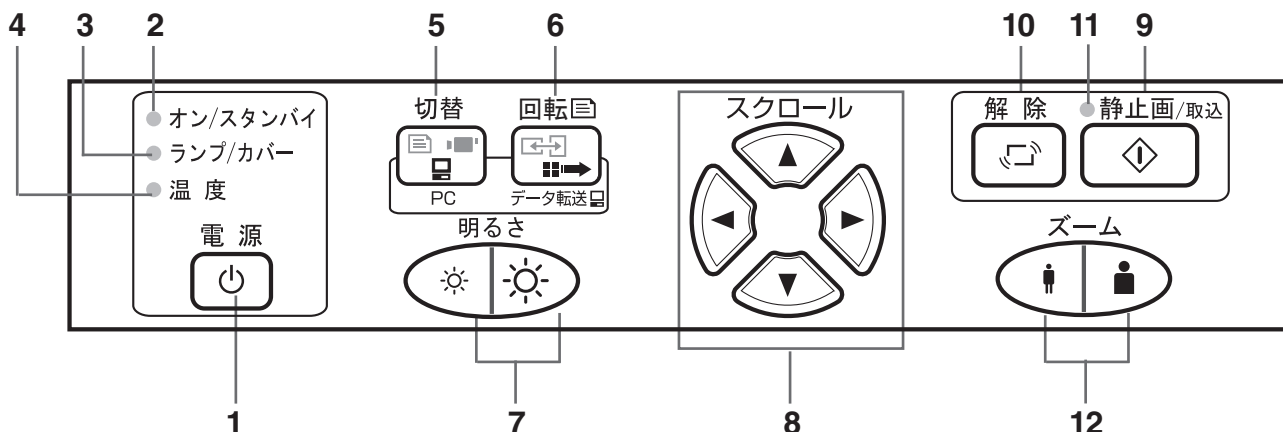
お知らせ

ステレオスピーカーです。

SD メモリーカードは弊社オプション品（型名：AV-SDSDC1GB）及び添付品のみ動作保証致します。その他の SD メモリーカードについては動作保証致しません。



各部の名称とはたらき（操作パネル）



1. 電源ボタン

本機の電源を入/切（スタンバイ状態）します。
※ 投写ランプが消灯しているとき、このボタンのみが有効です。

▶ 26 ページ参照

2. オン/スタンバイ LED

スタンバイ時に赤色に点灯、ランプ点灯時に緑色に点灯します。 ▶ 26 ページ参照

3. ランプ/カバー LED

投写中は緑色に点灯します。エアフィルターまたはランプユニットカバーがはずれているときに赤色に点灯します。

- ・ ランプ点灯動作時はおよそ 6 秒の緑点滅後、緑点灯します。
- ・ ランプ点灯失敗時、赤点灯します。
- ・ ランプ消灯時は 60 秒の緑点滅後、消灯します。（消灯時の点滅間隔は、他の点滅時よりも長くなります。）
- ・ ランプ使用時間が 1400 時間を超えている場合は赤色点滅、1500 時間を超えている場合は赤色点灯します。

▶ 49 ページ参照

4. 温度アラーム LED

内部温度が上がるとき 10 秒間の赤色点滅後、赤色点灯します。 ▶ 49 ページ参照

5. 切替ボタン

入力ソースを切り替えます。
OHP → PC1 → PC2 → VIDEO → OHP → …
または、
OHP → VIDEO（コンポーネント）D1 → D2 → VIDEO → OHP → …

▶ 28 ページ参照

6. 回転/データ転送ボタン

OHP 選択時：投写画面の向きを 90° ごとに切り替えます。切り替えた画面は横幅に合わせて表示されます。

▶ 28 ページ参照

また、長押しすることで画像を転送することができます。

▶ 36 ページ参照

PC 選択時：USB ケーブルを接続している場合、内部にメモリーした画像をパソコンに転送します。 ▶ 31、36 ページ参照

7. 明るさボタン

投写画面の明るさ調整を行います。 ▶ 30 ページ参照

8. スクロール ▲▼◀▶ ボタン

メニュー画面で、項目の選択や調整値の設定をします。ズーム表示しているときは、ズーム位置を移動します。ポインターを表示しているときは、ポインターを移動します。 ▶ 29,30,32,34,35,37 ページ参照

9. 静止画/取込ボタン

投写画面が静止画となります。OHP 選択時は履歴画像として、内部メモリー又は SD メモリーカードに保存されます。 ▶ 31 ページ参照

10. 解除ボタン

静止画の状態を解除します。原稿を動かしながら投写画面を確認するときに使用します。 ▶ 31 ページ参照

11. 静止画 LED

静止画表示時に緑色に点灯、履歴（取込画像）表示時にオレンジ色に点灯します。静止画の状態を解除すると、消灯します。

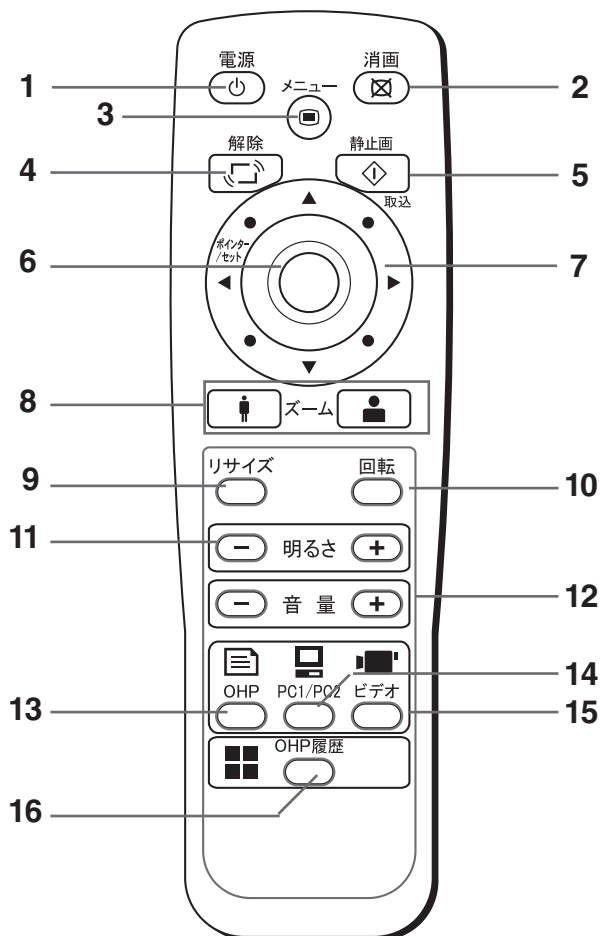
12. ズームボタン

投写画面の倍率調整を行います。 ▶ 29 ページ参照

LED 一覧表

LED 状態			お知らせ内容	
オン/スタンバイ	ランプ/カバー	温度		
消灯	消灯	消灯	AC 電源 OFF	正常な状態
赤	消灯	消灯	スタンバイ	
緑	緑点滅	消灯	スタンバイ～投写開始 投写終了～スタンバイ	
緑	緑	消灯	投写中	
赤	赤	消灯	ファンカバーオープン	アラームにより電源を OFF した状態
			ランプカバーオープン	
			ランプ失灯	
赤	消灯	赤	ランプ使用 1500 時間超過	
			温度異常 ファン異常	
緑	赤点滅	消灯	ランプ使用 1400 時間超過	アラーム警告中
緑	緑	赤点滅	温度異常警告	

各部の名称とはたらき (リモコン)

**1. 電源ボタン**

本機の電源を入/切 (スタンバイ状態) します。
※投写ランプが消灯しているとき、このボタンのみが有効です。
▶ 26 ページ参照

2. 消画ボタン

ランプを消灯せずに、投写画面を一時的に消します。もう一度押すと、すぐに画面が復帰します。
▶ 37 ページ参照

3. メニューボタン

メニュー画面の表示/非表示を行います。
▶ 40 ページ参照

4. 解除ボタン

静止画の状態を解除します。
原稿を動かしながら投写画面を確認するときに使用します。
▶ 31 ページ参照

5. 静止画/取込ボタン

投写画面が静止画となります。OHP 選択時は履歴画像として、内部メモリー又は SD メモリーカードに保存されます。
▶ 31 ページ参照

6. ポインター/セットボタン

メニュー表示中は、次の階層のメニューへ進みます。項目選択時は決定を行います。▶ 37,40 ページ参照
メニュー画面が表示されていない時はポインターを表示します。もう一度押すとポインターは消えます。

7. スクロール▲▼◀▶ボタン

メニュー画面で、項目の選択や調整値の設定をします。ズーム表示しているときは、ズーム位置を移動します。ポインターを表示しているときは、ポインターを移動します。
▶ 29,30,32,34,35,37 ページ参照

8. ズームボタン

投写画面の倍率調整を行います。
▶ 29 ページ参照

9. リサイズボタン

OHP 選択時：表示画面のサイズを変更するときに押します。
PC 選択時：自動で同期調整を行うときに押します。

10. 回転ボタン

投写画面の向きを 90° ごとに切り替えます。切り替えた画面は横幅に合わせて表示されます。
▶ 28 ページ参照

11. 明るさボタン

投写画面の明るさ調整を行います。
▶ 30 ページ参照

12. 音量ボタン

PC 選択、ビデオ選択時の音量調整を行います。
▶ 36 ページ参照

13. OHP ボタン

OHP 入力に切り替えます。
▶ 28 ページ参照

14. PC1/PC2 ボタン

PC1 → PC2 の方向で PC 入力に切り替えます。コンポーネント選択時は、D1 → D2 の方向でコンポーネント入りに切り替えます。
▶ 28 ページ参照

15. ビデオボタン

ビデオ入力に切り替えます。
▶ 28 ページ参照

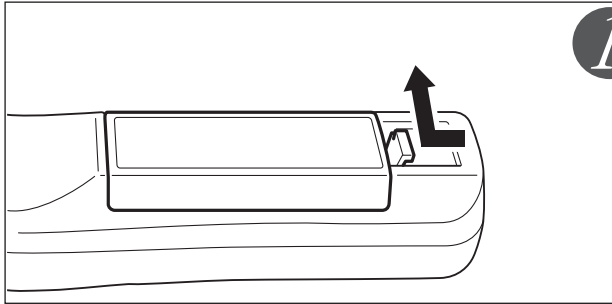
16. OHP 履歴ボタン

取り込んだ静止画をサムネールで表示します。
▶ 32 ページ参照

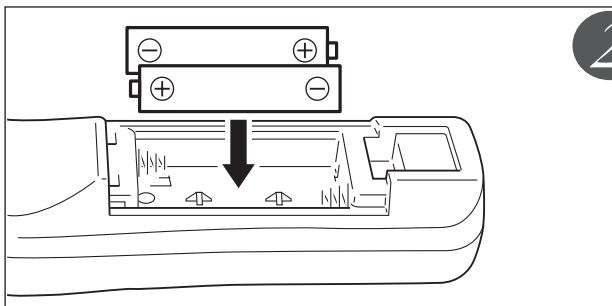
リモコンの操作について

- リモコンは本機のリモコン受光部（前と後にあります）から約 7m、左 10° / 右 10° の範囲でお使いください。ただし、電池の消耗により距離は短くなります。
- リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物があるとリモコンは動作しません。

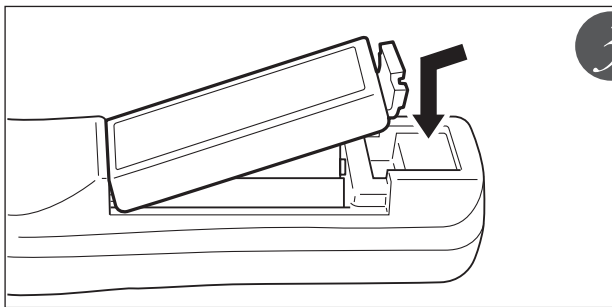
電池の交換のしかた



1 カバーのツメを引ながら押し上げます。



2 ケース内部の表示通りに⊕⊖の向きを合わせて入れます。



3 もとに戻します。

⚠ 注意

リモコンの取り扱い

- 机から落とすなど強い衝撃を与えないでください。破損し動作しなくなる場合があります。
- 水などをかけないでください。かかった場合はすぐふき取ってください。
- 熱や湯気をさけてください。長期間使用しないときは乾電池を取り出してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池を分解、加熱、火の中への投入しないでください。
- 使用済みの乾電池は、各自治体の廃棄方法にしたがってください。
- インバータ機器が近くにある場合、リモコンが動作しないことがあります。
- インバータタイプの蛍光灯をお使いの場合、リモコンが動作しない、または効きが悪くなる場合があります。
- リモコンでしかできない操作がありますので、取り扱いにはご注意ください。

お知らせ

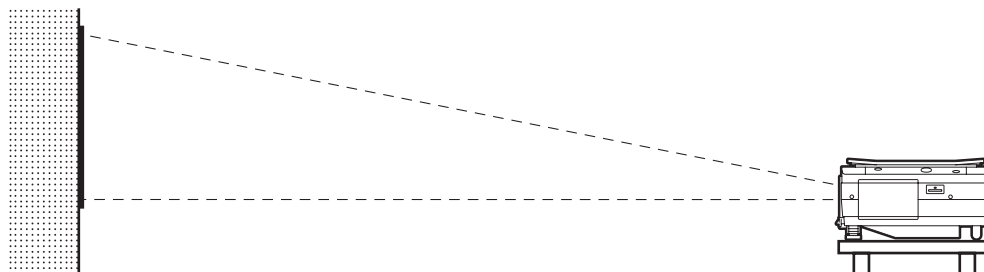
- 電池を取り換えるときは、単 3 乾電池をお買い求めください。
- ニカド電池または他の充電式の電池は使用できません。マンガン電池または、アルカリ電池をお使いください。

投写までの手順

1 設置場所と画面サイズの検討

スクリーンおよびプロジェクタの設置場所を決めます。

水平で安定した丈夫な台の上に設置します。



投写距離と画面サイズについては▶ 20 ページ参照

2 入力機器と接続する

お手持ちのパソコン／映像機器と接続します。

パソコンと接続する▶ 21 ページ参照

映像機器と接続する▶ 25 ページ参照

3 電源コードを接続し、電源を入れる

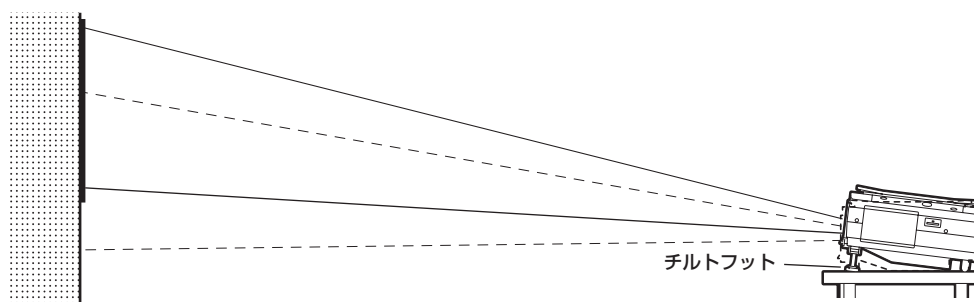
電源を入れる▶ 26 ページ参照

電源を切る▶ 26 ページ参照

4 パソコンや映像機器の電源を入れる

5 投写画面をスクリーンに正しく合わせる

▶ 20 ページ参照



投写したい高さに本機のチルト調整をする

チルト調整をすると投写画面位置を上下できます。調整角度は 0° ～ 7° です。

チルト調整 ▶ 27 ページ参照

6 入力機器を選択する

▶ 28 ページ参照

7 画像や映像を調整する

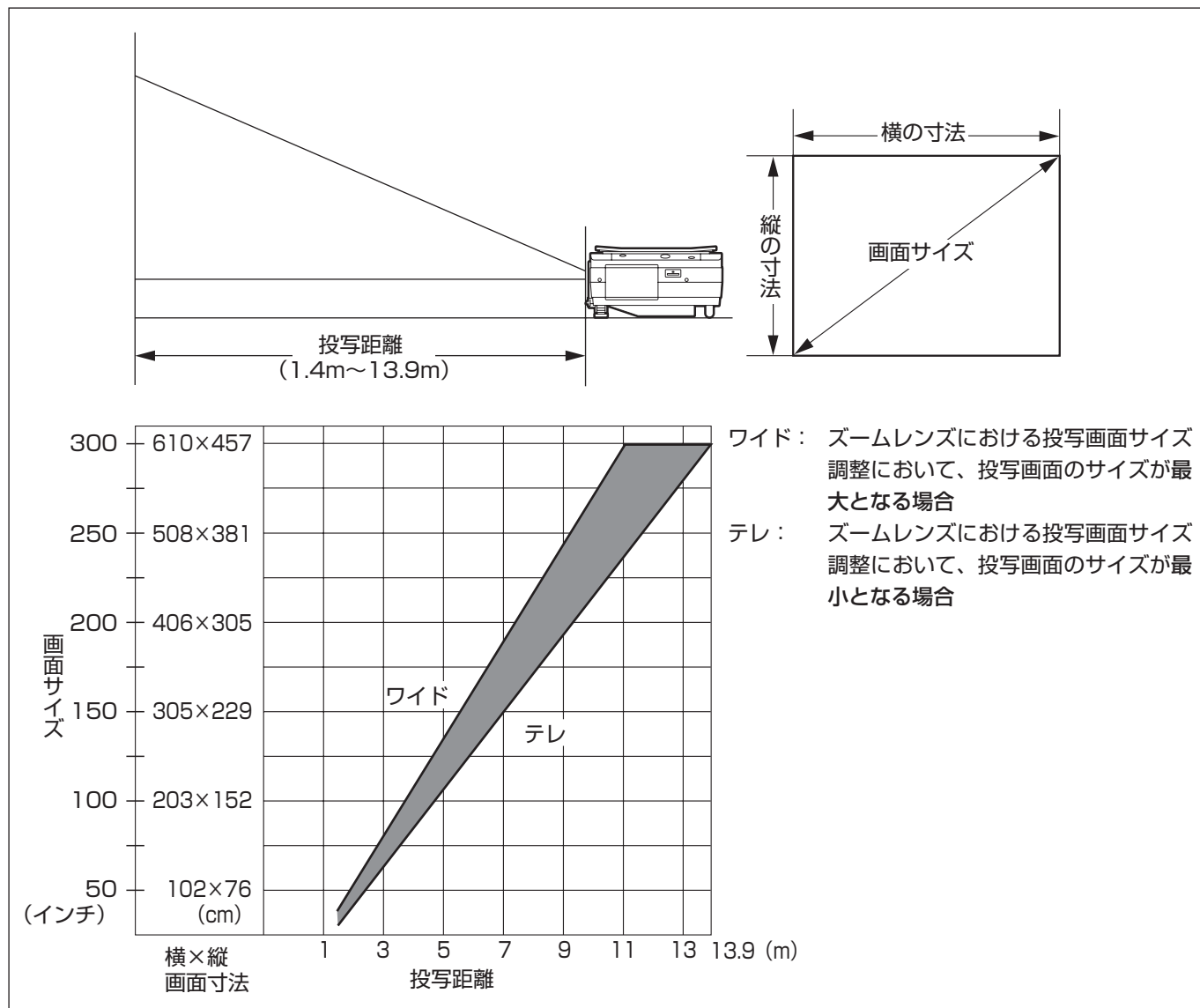
必要に応じて最適な状態に調整してください。

▶ 45 ～ 48 ページ参照

投写距離と画面サイズ

設置する場所によって、どのくらいの画面サイズになるか、また、どのくらいのスクリーンを用意すればよいかの検討にお使
いください。

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 1.4m ~ 13.9m です。この範囲で設置してください。



設置場所について

- 高温または低温になる場所には設置しないでください。
使用周囲温度：0℃～35℃
- スクリーンに直射日光や照明の光が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく、見えにくい画面になります。
明るい部屋ではカーテンなどを引いてスクリーン周辺を暗くしてください。
- 湿気やほこり・油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。
レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、映像が悪くなる原因になります。
- 通風口をふさぐような場所や風通しの悪い狭い所に設置しないでください。温度が上昇して火災や事故の原因になります。（排気口は前面、吸気口は側面及び底面にあります。）
- 熱に弱い素材のテーブルやデスクマットの上に置かないでください。テーブルが変色したり、デスクマットが変形する恐れがあります。
- ぐらついたり、ゆれたりする不安定な場所には設置しないで下さい。
- 本機の動作中は、レンズの前をふさがしないでください。動作中はレンズを通して強い光が投写されており、レンズ前を物や手でふさぐと、火災ややけどの原因となります。
- 投写中は必ずレンズキャップを外して下さい。レンズキャップが変形する恐れがあります。



注意

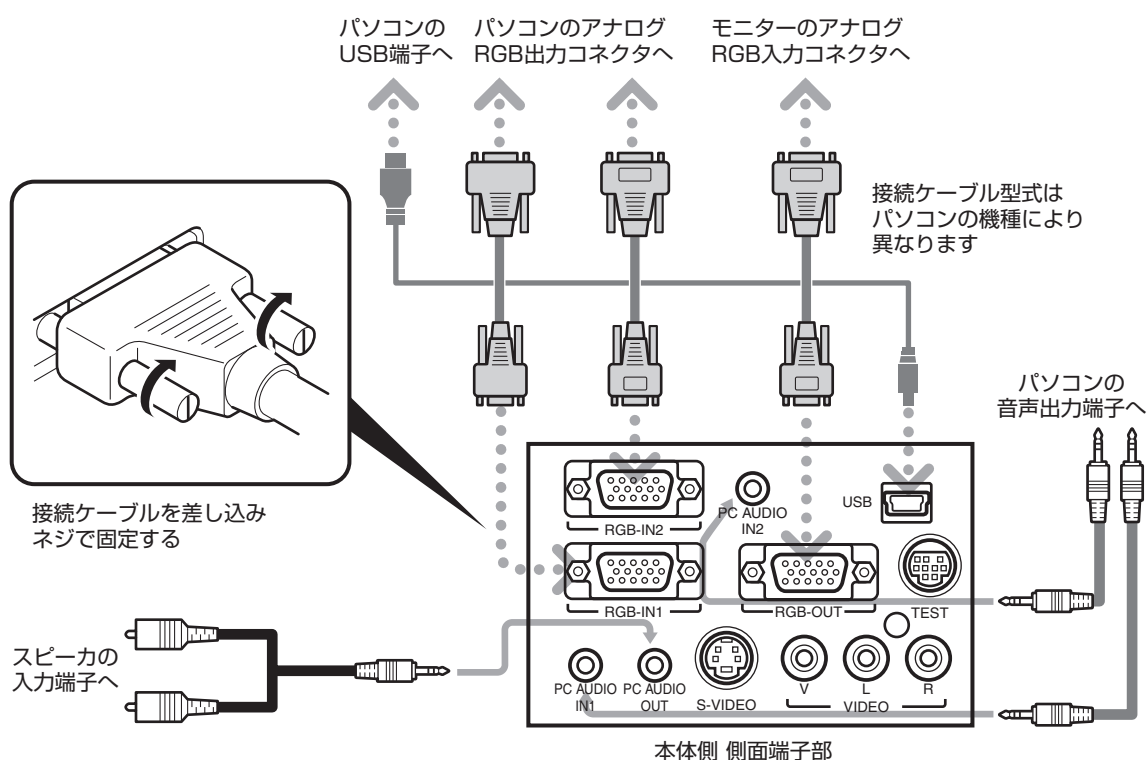
パソコンとの接続

注意

接続上のご注意

- 本機および接続機器を保護するため、各々の電源を切ってから接続してください。
- 接続する機器の接続や使用法は各々の取扱説明書をご覧ください。
- ノートパソコンと接続する場合、ノートパソコンの液晶画面に映像を表示していると正しく表示されない場合があります。ノートパソコンの表示を OFF にすると正しく表示されます。ノートパソコンの表示を OFF にする方法は各メーカーにより異なります。詳しくはノートパソコンの説明書をご覧ください。
- パソコンのモデルおよび設定によっては接続できないことがあります。販売店にご相談ください。

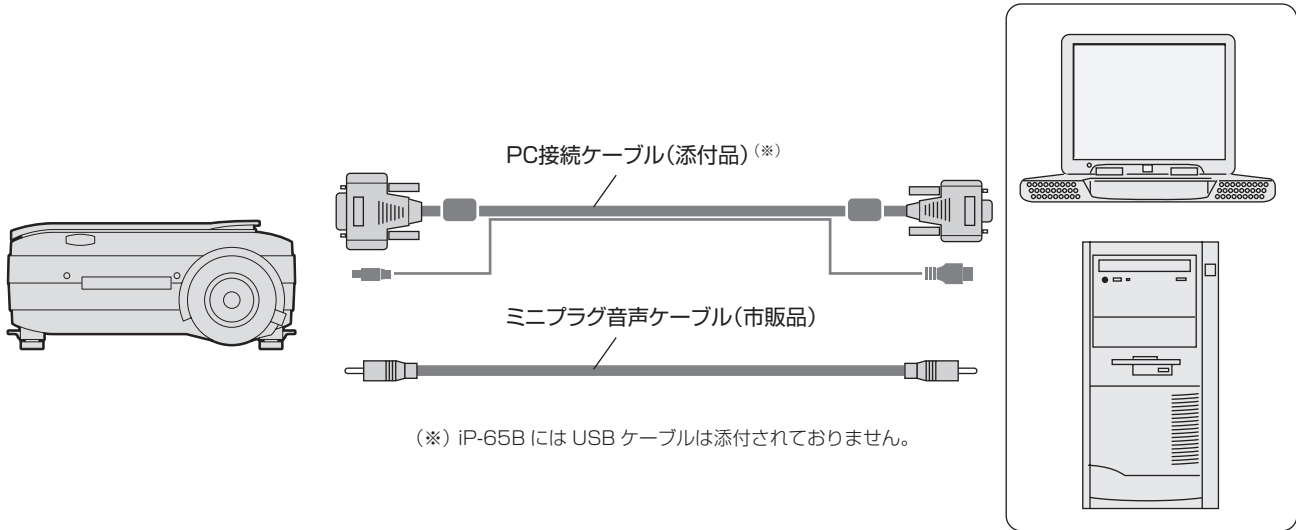
基本的な接続



お知らせ

- パソコン入力端子には、映像／音声共にそれぞれ「1」と「2」があります。接続するときは映像と音声の入力を一致させてください。
一致していないと映像や音声が正常に出力されません。
入力端子については 15 ページ参照
- USB ケーブル接続時の使用法は「iP Viewer ソフトウェア取扱説明書」をご参照ください。
(※) USB ケーブルは iP-65S のみご使用いただけます。

パソコンと接続する



- お知らせ**
- PC 接続ケーブルを接続してから、パソコン側で、外部出力とパソコンの画面表示を設定してください。
 - 外部出力の設定がされていないと“信号が入力されていません”と表示されます。
 - 信号が入力されていない状態が 15 分以上続くと自動的にランプを消灯します。
(オートパワーオフが“ON”の場合のみ有効です。🔍 48 ページ参照)

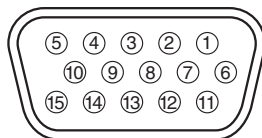
Macintosh を接続する場合

- モニタ出力が VGA ポート (ミニ D-SUB15 ピン) の場合は、本体付属 PC 接続ケーブルを取付けます。
- モニタ出力がビデオポートや DVI ポートの場合は、Apple 社の別売ビデオアダプタケーブルが必要です。
- iP Viewer (※) は Macintosh 非対応ですので、USB は接続しないでください。
(※) iP Viewer は iP-65S のみの機能です。

パソコン入力端子について

パソコン入力端子について

パソコン入力端子は、15 ピンミニ D-SUB 型コネクタを使用しています。
各ピンと信号入力との関係は次の通りです。



- | | | |
|---------------|-------|-----------------|
| ① RED VIDEO | ⑥ GND | ⑪ NC |
| ② GREEN VIDEO | ⑦ GND | ⑫ Pull up (+5V) |
| ③ BLUE VIDEO | ⑧ GND | ⑬ H.SYNC |
| ④ GND | ⑨ NC | ⑭ V.SYNC |
| ⑤ NC | ⑩ GND | ⑮ Pull up (+5V) |

- お知らせ**
- 本機の RGB(15P)入力端子、出力端子はアナログ方式です。デジタル出力方式のパソコンとは接続できません。
 - プラグ&プレイには対応しておりません。

パソコン画面の映像が投写されない場合

パソコンの映像が投写されない場合や、投写はされるが映像が正常でない場合には、次に示すことをご確認ください。

●映像が投写されない場合

パソコンからの外部出力信号がプロジェクタに入力されない場合、プロジェクタの表示画面に「PC 信号が入力されていません。」と表示されます。その場合は、次のことを確認してください。

1 パソコンを再起動してみてください。

パソコンを起動したあとにプロジェクタの接続を行うと、パソコン側でプロジェクタの接続が認識されない場合があります。認識されないと、パソコンからの外部出力信号が出力されないため投写されません。

2 パソコン側の機能を調べてください。

ノートパソコンによっては、「外部出力端子」から信号を出力するための操作が必要になるものがあります。その操作をしないとノートパソコンから外部出力信号が出力されない場合があります。

お使いのノートパソコンの取扱説明書をご覧ください、外部出力端子から信号を出力するための操作を行なってください。

操作例)

・ IBM PC/AT , DOS/V の場合 :

 [Fn]キー + 「[F1] ~ [F12]キーのいずれか (機種によって操作は異なります)」を押す。

・ Nr シリーズ以降の PC98 ノート (PC-98NX は除く) の場合 :

 「サスペンドレジューム」スイッチを押す。

パソコンとの接続不具合時の対応一覧 (参考)

メーカー	外部出力切替方法	メーカー	外部出力切替方法
Lenovo (旧 IBM)	Fn+f7	DELL	Fn+f8
NEC	並列出力	東芝	Fn+f5
	タスクバーにて切替	Panasonic	Fn+f3
	Fn+f3	富士通	Fn+f10
HP (旧 COMPAQ)	Fn+f4	三菱	Fn+f5
シャープ	Fn+f5	Apple	システム環境設定→ディスプレイ→調整タブでミラーリングをチェック
SONY	Fn+f7		

※この表は各社の代表機種を弊社で独自に調査した結果であり、全ての接続を網羅しているわけではありません。

※記載された会社名、商品名は各社の商標または登録商品です。

●ノートパソコンの画面は正常だが、映像が正常に投写されない

パソコン側の機能を調べてください。

ノートパソコンの液晶画面は正常に表示されていても、投写された映像が正常に投写されない場合があります。まれにノートパソコンの制約により同時表示 (パソコンの画面を表示しながら、外部出力信号も同時に出力すること) すると、プロジェクタで対応できる範囲の信号から大きくはずれてしまい、正常に投写することができなくなってしまいます。

この場合、プロジェクタ側で調整を行っても正常な映像にはなりません。

同時表示をやめて外部出力信号だけを出力するための操作を行なうと、プロジェクタでパソコン画面が正常に投写される場合があります。詳しくは、お使いのノートパソコンの取扱説明書をご覧ください。

入力信号対応表

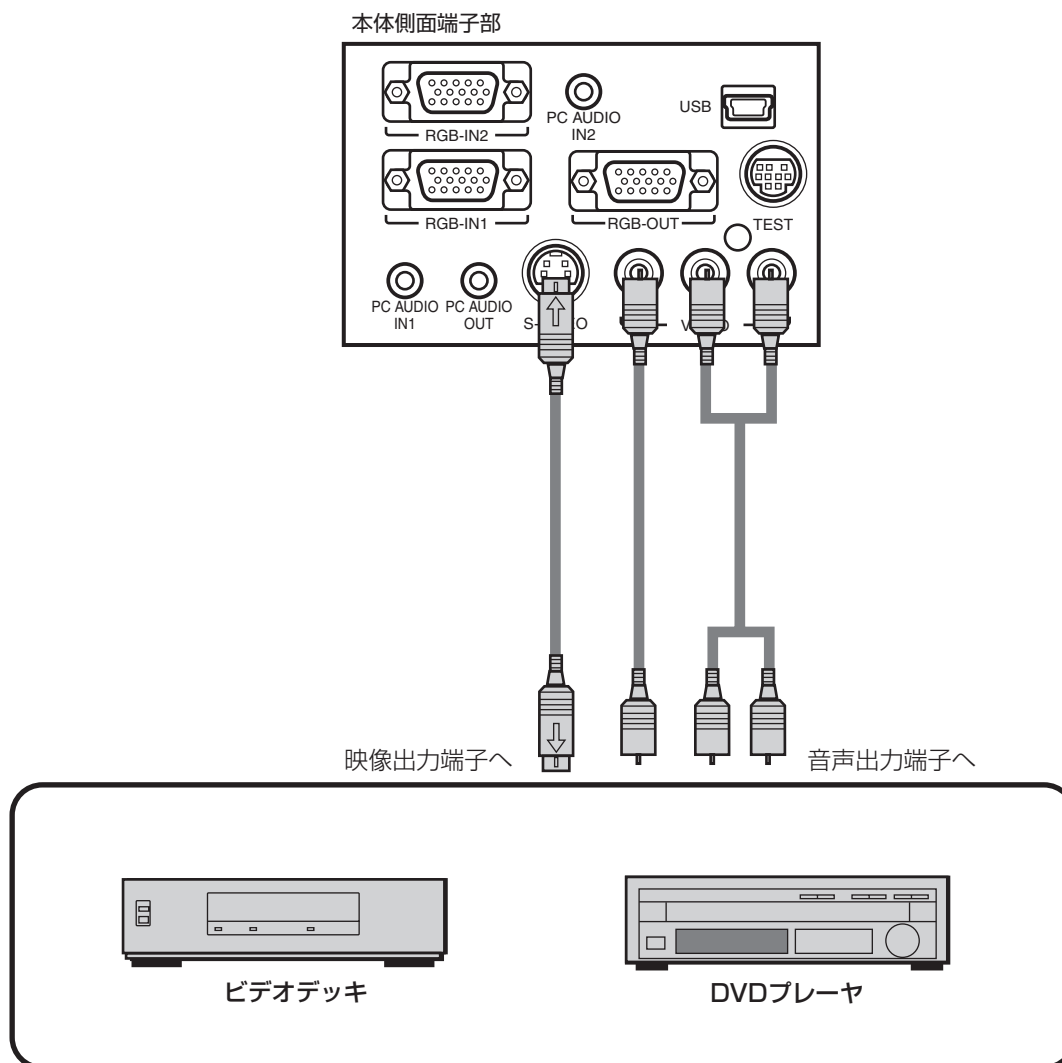
●印のついた信号に対応しています。ただし、パソコンの機種によって投写画面にちらつきやにじみが出る場合は、メニューの「映像調整」→「同期調整」で画面調整を行ってください。🔍 46 ページ参照

信号名	解像度 (水平×垂直)		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	対応の可否
NTSC RGB	-	-	15.7	60	×
PAL/SECAM RGB	-	-	15.6	50	×
PC-98 Normal*1	640	400	24.8	56	●
PC-98 Hi	640	400	31.5	70	●
VGA-GR1	640	480	31.5	60	●
VGA-GR2*1	640	400	31.5	70	●
VGA-GR3*1	640	350	31.5	70	●
VGA-TX1*1	720	400	31.5	70	●
VGA-TX2*1	720	350	31.5	70	●
640 × 480 72Hz	640	480	37.8	72	●
640 × 480 75Hz	640	480	37.5	75	●
640 × 480 85Hz	640	480	43.2	85	●
Mac 13"RGB	640	480	35.0	66	●
800 × 600 56Hz	800	600	35.1	56	●
800 × 600 60Hz	800	600	37.8	60	●
800 × 600 72Hz	800	600	48.0	72	●
800 × 600 75Hz	800	600	46.8	75	●
Mac 16"RGB	832	624	49.7	74	●
1024 × 768 43Hz	1024	768	35.5	43	×
1024 × 768 60Hz	1024	768	48.3	60	●
1024 × 768 70Hz	1024	768	56.4	70	●
1024 × 768 75Hz	1024	768	60.0	75	●
1024 × 768 85Hz	1024	768	68.7	85	●
MAC19"1024 × 768	1024	768	60.2	75	●
1280 × 768 60Hz	1280	768	47.7	60	●
MAC21"1152 × 864	1152	864	68.7	75	● *2
1280 × 960 60Hz	1280	960	60.0	60	● *2
1280 × 960 85Hz	1280	960	85.9	85	● *2
1280 × 1024 60Hz	1280	1024	64.0	60	● *2
1280 × 1024 75Hz	1280	1024	80.0	75	● *2
1280 × 1024 85Hz	1280	1024	91.1	85	● *2
1600 × 1200 60Hz	1600	1200	75.0	60	● *2
1600 × 1200 65Hz	1600	1200	81.3	65	×
1600 × 1200 70Hz	1600	1200	87.5	70	×
1600 × 1200 75Hz	1600	1200	93.8	75	×
1600 × 1200 85Hz	1600	1200	106.3	85	×

- ・ 入力信号の解像度が 1024 × 768 ドットより低い場合は拡大し、高い場合は圧縮して表示します。
- ・ 上記 *1 の信号は、キーストン（台形補正）をいっぱいかけると映像の一部が欠ける場合があります。これらの信号を使用し、台形補正をするときは、映像を確認しながら支障の出ない程度に設定してください。
- ・ 上記 *2 の信号はズームを行うことができません。ズーム機能をご使用になるためにはパソコンの映像出力の設定を WXGA（1280 × 768）以下にしてください。
- ・ D1 ~ D4 映像（D1 : 525i (480i)、D2 : 525p (480p)、D3 : 1125i (1080i)、D4 : 750p (720p) の各信号方式）に対応しています。

映像機器（ビデオ・DVDプレーヤー等）との接続

ビデオや DVD プレーヤーの映像を大画面に映します。



お知らせ

- ビデオと S ビデオの両方接続した場合は、S ビデオが優先表示されます。
- ノイズの多い映像信号を入力すると、映像がモノクロ表示される場合があります。そのような場合には、「映像信号方式」メニューで入力信号に合わせて設定して下さい。（日本国内の方式は NTSC3.58 です。）
- 信号が入力されていない状態が 15 分以上続くと自動的にランプを消灯します。（オートパワーオフが“ON”の場合のみ有効です。▶ 48 ページ参照）

電源コードの接続と入／切

電源を入れる

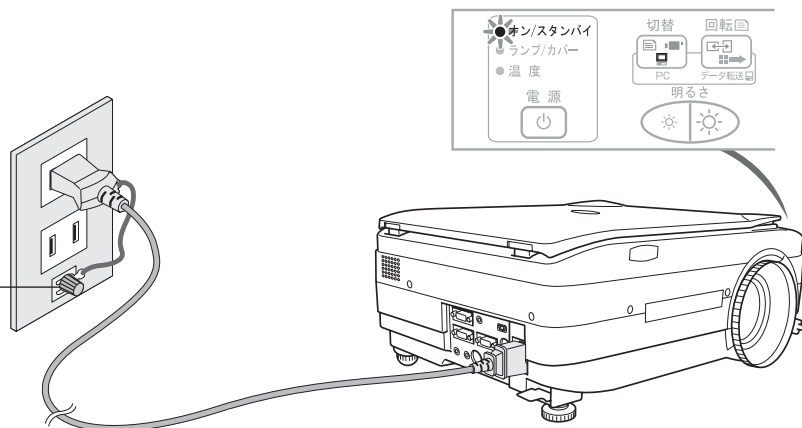
1 電源コードをつなぐ

スタンバイ状態となり、オン/スタンバイ LED が赤色に点灯します。

U字型金具を電源コンセントの アース端子に接続する

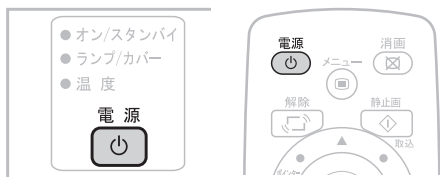
● 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

- ・ U字型金具はアース端子以外に接続又は挿入しないで下さい。



2 電源ボタン (⏻) を押す

【本体での操作】 【リモコンでの操作】 ファンが回転し、ランプが点灯し、オン/スタンバイ LED が緑色に点灯します。ランプ/カバー LED が緑色に点灯します。



- ・ 電源ボタンを押したあと、LED が赤色に点灯すると装置異常です。

▶ 55 ページ参照

- ・ 電源ボタンを押す前にレンズキャップが外されていることをご確認ください。

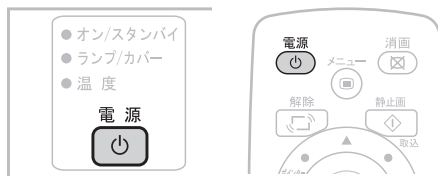
これでプロジェクタが投映できる状態になりました

電源を切る

1 電源ボタン (⏻) を1秒以上押し続ける

投写画面に、“もう一度電源ボタンを押すと消灯します。”と表示されます。

【本体での操作】 【リモコンでの操作】



2 もう一度、電源ボタン (⏻) を押す

ランプが消灯します。

- ・ ランプ/カバー LED が緑色に点滅し、クーリング完了後消灯します。
- ・ オン/スタンバイ LED が赤色に点灯します。
- ・ ランプ消灯時、ランプ/カバー LED が緑色に点滅中に電源ボタンを押してもランプは再点灯しません。ランプを再点灯するときはオン/スタンバイ LED が赤色点灯後、再度電源ボタンを押してください。

3 電源コードを抜く

操作パネル上のオン/スタンバイ LED が消えます。

ランプ消灯後、ランプ/カバー LED が緑色に点滅している場合でも電源コードを抜くことができます（ダイレクトパワーオフ機能）。ただし、冷却のためファンはしばらくの間、回り続けます。



注意

- ・ ランプ点灯中および SD メモリーカードアクセス LED 点灯中は、電源コードを抜かないでください。
- ・ SD メモリーカード使用後は、SD メモリーカードを入れたままにせず、必ず取り出して保管して下さい。
- ・ 長時間使用しないときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜いたあと、再度コンセントに差し込む場合は、一定の間隔（約 10 秒間）をあけてください。
- ・ 収納ケースへは冷却ファンの回転が終了してから収納してください。

投写画面の調整

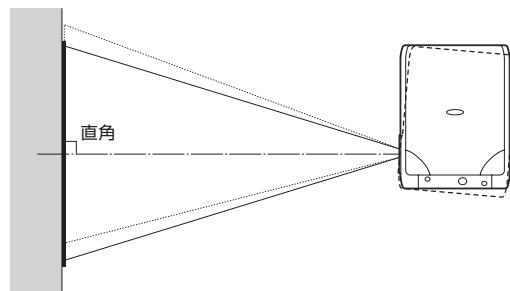
投写画面を調整する

スクリーンに投写画面を合わせます。

- 左右方向にずれている場合は本体を横に移動します。(スクリーンの中心と本体レンズの中心を合わせます。)
- 上下方向にずれている場合はチルトフットで上下方向を調整します。
- 傾いている場合は右または左のチルトフットを回して調整します。
- 台形状に歪んでいる場合は、メニュー操作のキーストンで調整します。ただし、キーストンの自動調整が“ON”に設定されている場合は縦方向のみが自動的に調整されます。▶ 41, 42, 47 ページ参照

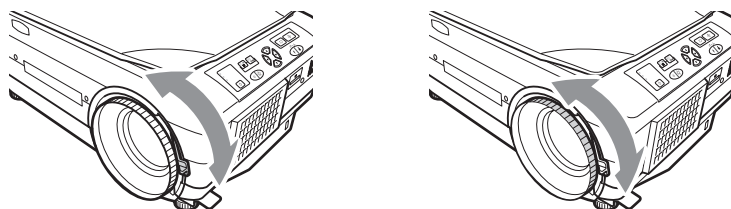
※ ご使用になる環境によってはキーストンの自動調整後、マニュアルで微調整が必要になることがあります。

※ 自動キーストンは iP-65S のみの機能です。



フォーカス／ズーム調整をする

投写レンズのフォーカスリング／ズームレバーを回転させ、投写画面を調整します。



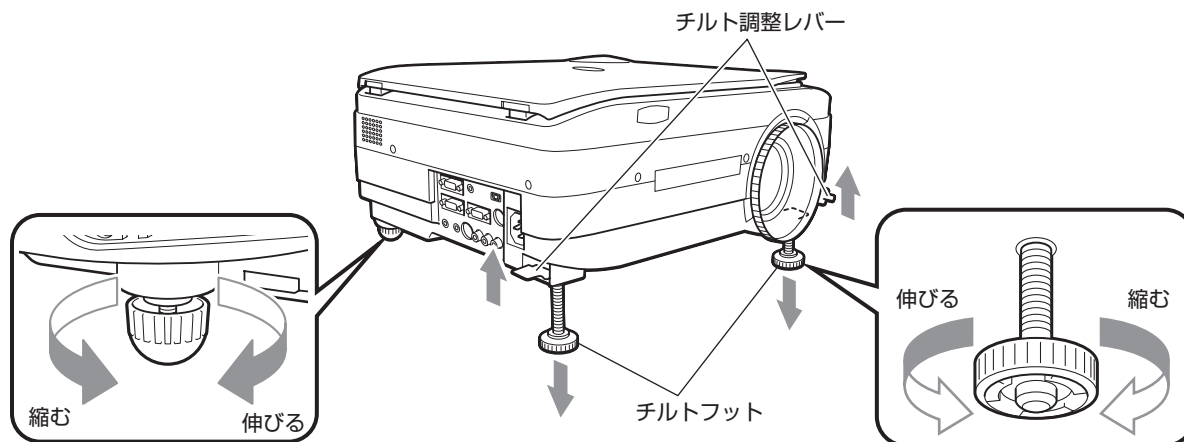
- 投写距離により画面サイズが変わります。▶ 20 ページ参照

チルト（傾斜）を調整する

チルトフットを調節することにより、投写画面の位置や傾きを調整することができます。

左右のチルト調整レバーを押して本体の前側を持ち上げ、お好みの高さになったら手を離します。

チルトフット最下部を回すことによって、微調整することもできます。左に回すと伸び、右に回すと縮みます。また、本体左後部のチルトフットを回し、傾き調整することもできます。



注意

- チルトフットを片側だけ伸ばして、本体を極端に傾けないでください。すべったり、倒れたりすることがあり、事故や故障の原因になります。
- 本体を移動させる場合は、必ずチルトフットを元に戻してください。
- 本体側面及び底面の吸気口は、強い風で冷却用空気を吸気しています。布や紙が吸気口に吸い付き塞ぐと、内部温度が上昇し、事故や故障の原因になります。
- 設置場所の素材によっては、ゴム足により設置面を汚す場合があります。

通常の操作

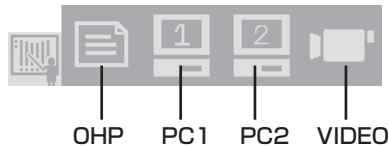
本体やリモコンボタンでの直接操作の使い方です。

メニューを使つての操作は40ページ「メニューの操作方法」と43ページ「メニュー説明」の各項目をご覧ください。

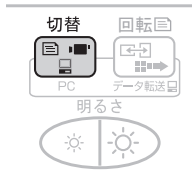
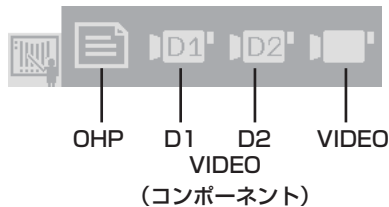
入力を選ぶ

本機の電源を入れると入力選択（OHP/PC/VIDEO）または（OHP/VIDEO（コンポーネントD1、D2）/VIDEO）のいずれかのアイコンが表示されます。

（PC入力=RGBのとき）



（PC入力=コンポーネントのとき）



【本体での操作】

入力切替ボタンで入力を選びます。

押すごとに OHP → PC1 → PC2 → VIDEO または OHP → VIDEO（コンポーネント D1 → D2） → VIDEO の方向で入力が切り替わります。



【リモコンでの操作】

入力切替ボタンで入力を選びます。

パソコン入力選択時に PC1/PC2 を押すと、パソコン入力 1 とパソコン入力 2 の切り替えを行います。

※ PC 入力の選択方法につきましては 43 ページをご参照ください。

お知らせ

起動時の入力状態は、前回終了時のものになっています。アイコンが表示されている時は、左右キーでも入力切替ができます。左端にカラーモードアイコンを表示します。カラーモードについては 45 ページ「映像調整」を参照してください。

カラーモードアイコン表

高輝度	プレゼン	ナチュラル	黒板

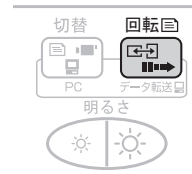
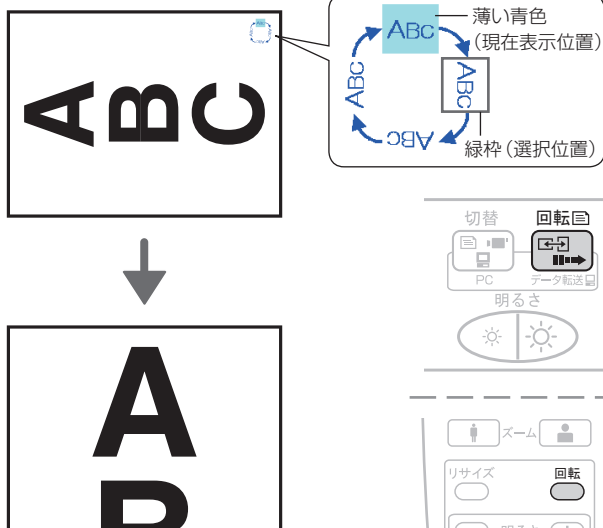
投写画面の向きを変える

OHP 入力時のみ有効

現在投写している映像の向きを 90° ごと（右廻り）に切り替えます。

切り替えられた映像は画面の横幅に合わせて表示されます。

（90° 回転選択の場合）



【本体での操作】

回転ボタンを押します。

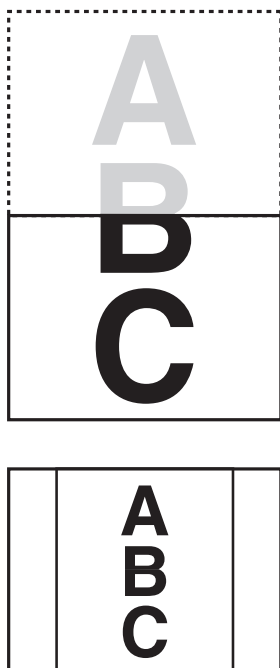


【リモコンでの操作】

回転ボタンを押します。

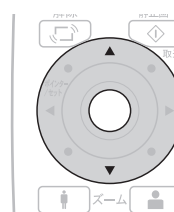
- 回転ボタンを押すと回転選択アイコンを表示します。目的の向きを選んでください。映像が切り替わると、表示は消えます。

●表示しきれない部分を見るには



【本体での操作】

スクロール ▲▼ ボタンを押し、投写画面を上下にスクロールさせます。



【リモコンでの操作】

スクロール ▲▼ ボタンを押し、投写画面を上下にスクロールさせます。

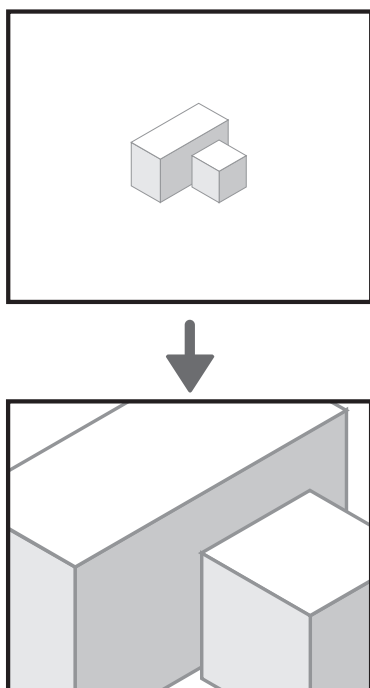
- ズーム (人) ボタンを押し続けていくことで縦表示の読み取り範囲内の大部分を表示することができます。表示されない部分はスクロール ▲▼ ボタンで表示することができます。

お知らせ ズーム機能を使用している状態で投写画面の向きを変えた場合も同様に横幅に合わせて表示されます。

投写画面を拡大 / 縮小する

現在投写している映像を拡大 / 縮小します。

等倍から OHP 入力時は約 25 倍（長さ比約 5 倍）、PC 入力時は 16 倍（長さ比 4 倍）、VIDEO 入力時は 6.25 倍（長さ比 2.5 倍）の間で調整ができます。



【本体での操作】

ズームボタンを押します。

人：投写画面を拡大します。

人：拡大した投写画面を縮小します。



【リモコンでの操作】

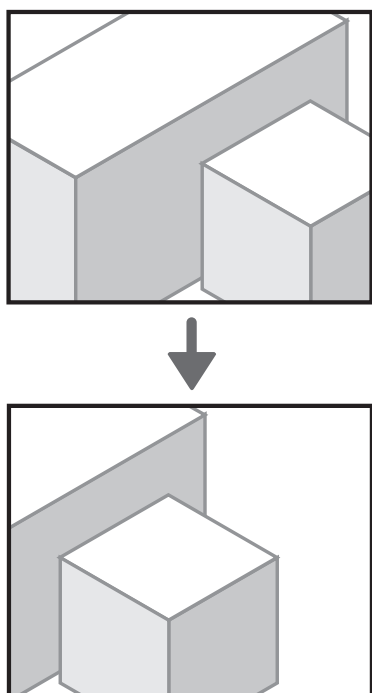
ズームボタンを押します。

人：投写画面を拡大します。

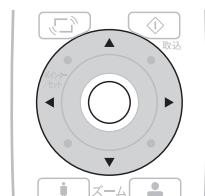
人：拡大した投写画面を縮小します。

お知らせ SXGA 入力時には拡大表示できません。

- 画面を移動させるには
移動できる方向は4方向（上下左右）です。



【本体での操作】
スクロール ▲▼◀▶ ボタンを押します。



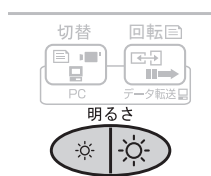
【リモコンでの操作】
スクロール ▲▼◀▶ ボタンを押します。

明るさを調整する

明るさを変更したい場合は下記の方法で手動調整を行ないます。



明るさ調整バー



【本体での操作】
明るさ ☀ / * ボタンで調整します。
☀：投写画面が明るくなります。
*：投写画面が暗くなります。



【リモコンでの操作】
明るさ + / - ボタンで調整します。
+：投写画面が明るくなります。
-：投写画面が暗くなります。

お知らせ 明るさ調整バーを表示させた状態で数秒間操作がない場合、明るさ調整バー表示が消えます。

投写画面を取り込む OHP 入力時のみ有効 / 静止画表示にする

● OHP 入力時

静止画 / 取込ボタンを押すことにより、OHP 資料を自動的に OHP 履歴画像として内蔵メモリーに記憶します。投写している映像は静止表示になります。内蔵メモリーの画像は電源を切ると消去されます。

お知らせ

- ・ iP-65S の場合、SD メモリーカード挿入時は SD メモリーカードに優先的に記録します。
- ・ SD メモリーカード未挿入時は内蔵メモリーに保存されます。
- ・ SD メモリーカードのライトプロテクトスイッチが書き込み禁止になっている時は記録できません。
- ・ SD メモリーカードに記録した画像ファイルには、正しい日時は記録されません。



【本体での操作】

静止画 / 取込ボタンを押します。

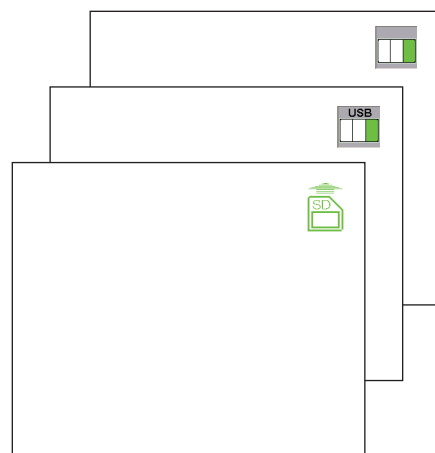


【リモコンでの操作】

静止画 / 取込ボタンを押します。

画像取込時、アイコンが表示されます。現在のメモリー使用容量により、アイコン表示が異なります。

	アイコン	メモリー容量
内蔵メモリー保存		履歴画像 1 枚目取得～メモリー使用容量 33%未満
		メモリー使用容量 33～66%未満
		メモリー使用容量 66%以上
		保存不可
SD メモリーカード保存 (*)		SD 保存
		メモリー Full 状態



(※)・ iP-65S のみ SD メモリーカードはご使用できます。

- ・ SD メモリーカード弊社添付品 (AV-SDSDC1GB)、及びオプション品のみ動作保証します。
- ・ 全ての SD メモリーカードの動作を保証するものではありません。
- ・ SDHC 規格の SD メモリーカード、及び高速 SD メモリーカード (class6) には対応していません。
- ・ SD メモリーカード挿入直後に静止画保存を行う場合は、SD メモリーカード挿入アイコンが表示された後に静止画ボタンを押してください。
- ・ SD メモリーカードは容量一杯になるまで保存できます。
- ・ 1 つのフォルダに 1000 枚まで保存できます。それ以上保存した場合は、新たにフォルダが作成されその中に保存します。
- ・ 保存先については一番番号の大きいフォルダ (100～499 の間) に保存します。
フォルダ名:xxxAVMPJ (xxx は 100～499 の番号) / ファイル名:MMPJxxxx (xxxx は 0001～1000 の番号) 128MB:約 120 枚 保存できます。
- ・ 使用される SD メモリーカードは、念のためバックアップをとってください。
- ・ SD メモリーカードの初期化 (フォーマット) はメニュー画面 (43 ページ参照) から行えます。
- ・ SD メモリーカードに保存した画像ファイルを PC で操作する場合は、SD メモリーカードからコピーしたデータを扱ってください。

USB 接続しているとき

内蔵メモリー内の画像をパソコンに転送することで、保存されていた OHP 履歴画像は 0 になり、再度内蔵メモリーに記憶することができます。転送の方法は 36 ページをご参照ください。

※ USB 接続できるのは iP-65S のみです。USB 接続時はアイコンの上に「USB」の文字が表示されます。

保存できる枚数は対象になる画像によって異なりますが、一般的な画像では 50 枚程度を目安にしてください。

● PC/VIDEO 入力時

静止画 / 取込ボタンを押すことにより、現在投写している映像を静止画表示させます。

お知らせ

- ・ 静止画表示中は静止画 LED が緑色に点灯します。
- ・ 動画を投写中に静止画 / 取込ボタンを押すと、ズーム倍率 / 位置はそのまま静止画表示されます。
- ・ OHP 入力時、静止画を投写中に静止画 / 取込ボタンを押すと、ズーム倍率 / 位置は元に戻ります。
- ・ 静止画表示中に本体の入力切替ボタンまたはリモコンの OHP/PC/ビデオの各ボタンを押すと PC、ビデオの静止画は解除され、その後入力が切替わります。OHP は静止画のままです。

● 静止画表示を解除するには



【本体での操作】

解除ボタンを押します。



【リモコンでの操作】

解除ボタンを押します。

内蔵メモリーや SD メモリーカードの画像を使ってプレゼンテーションを行う

内蔵メモリーまたは SD メモリーカード^(※)に保存した履歴画像や、iP Viewer で作成したプレゼンテーション用の画像をプロジェクトで投影します。

●内蔵メモリーの画像を使ってプレゼンテーションを行う

1 SD メモリーカードを本体に挿入している場合は取り外す ^(※)

本機は SD メモリーカード優先です。SD メモリーカードを挿入すると内蔵メモリーの画像は映せません。

SD メモリーカードを取りはずすことで内蔵メモリーの画像を映すことができます。

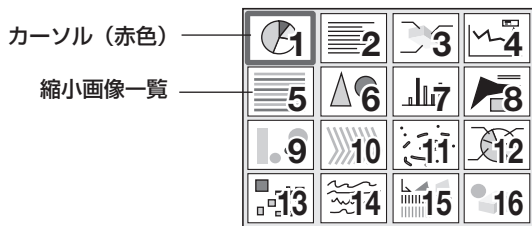
^(※) iP-65S のみ SD メモリーカードはご使用できます。

2 画像一覧を開く

リモコンの履歴ボタンを押します。

本体の静止画 LED がオレンジ色に点灯（メモリー出力モード）します。

・画像一覧の表示枚数はメニューの設定により、4 枚又は 16 枚に設定ができます。



【画像一覧表示】



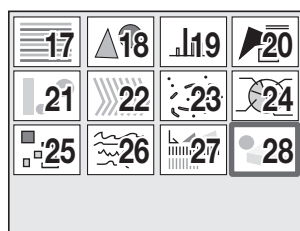
【本体での操作】
静止画LED(オレンジ色)



【リモコンでの操作】

お知らせ カーソルは画像一覧の最新画像に表示されます。

28 枚取り込んで一覧表示した例



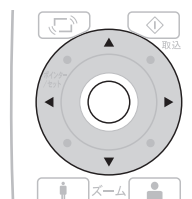
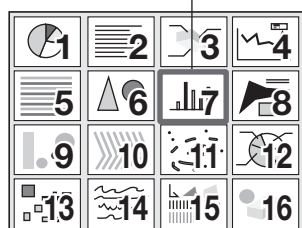
説明のための番号で実際には 1 ~ 16 の番号で表示されます。

3 画像を選択する

リモコンのスクロール ▲▼◀▶ ボタンを押して、カーソルを映したい縮小画像に合わせます。

縮小画面が 16 枚を超える場合、スクロールボタンを押すと別のページに切り替わります。

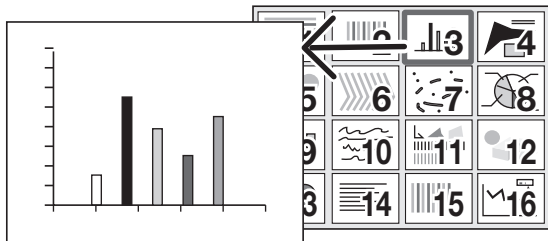
カーソル



【リモコンでの操作】

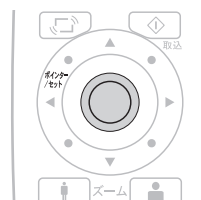
4 全画面で映す

リモコンのセット／ポインターボタンを押します。
カーソル位置の縮小画像がプロジェクタの投写画面一杯に映ります。



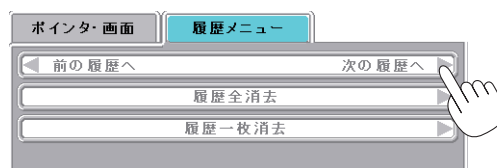
- お知らせ**
- 縦向きに切り替えて保存した画像は、縮小画面で横向きになっていても全画面にすると縦向きの画像になります。
 - リモコンでのみ操作可能です。

ページを送るときは、メニューの次へ（前へ）を選択します。



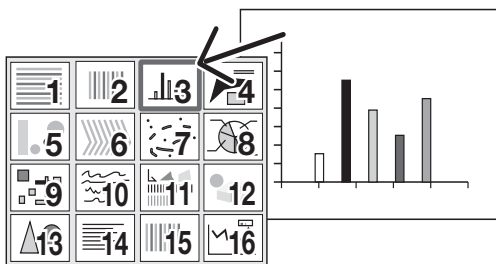
【リモコンでの操作】

【画面での操作】



5 他の画像を選択する

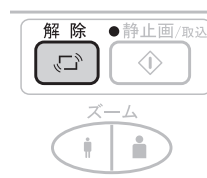
リモコンの履歴ボタンを押して、画像一覧表示に戻します。
手順3から操作を行って目的の画像を選択します。



【リモコンでの操作】

6 OHP の画像を映す／終了する

解除ボタンまたはリモコンの OHP ボタン、本体の入力切替ボタンを押してください。



【本体での操作】
静止画 LED（消灯）



【リモコンでの操作】

● SD メモリーカードの画像を使ってプレゼンテーションを行う (※)

(※) 弊社添付品 (型名: AV-SDSDC1GB) 及びオプション品のみ動作保証します。
 その他の SD メモリーカードについては動作保証しません。
 SD メモリーカードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。
 SDHC 規格の SD メモリーカード、及び高速 SD メモリーカード (class6) には対応しておりません。

1 資料を準備する

SD メモリーカードを本体にセットしてください。▶ 15 ページ

- ・ 本機は SD メモリーカード優先です。SD メモリーカードをセットすると内蔵メモリーの画像は映せません。
- ・ 本機で取り込んだ画像および iP Viewer または iP Viewer Tool で保存した画像以外は、本機では表示できません。
- ・ iP Viewer 及び iP Viewer Tool での資料作成の仕方は、それぞれの取扱説明書を参照してください。
 (iP Viewer Tool は、弊社ホームページ <<http://www.avio.co.jp>> からダウンロードできます。iP Viewer Tool は、指定したファイルをすべて登録保存しますので、PowerPoint ファイルや JPEG データ等ページが多い資料データを作成する場合に最適なツールです。)

2 フォルダ一覧を開く

リモコンの履歴ボタンを押します。
 本体の静止画 LED がオレンジ色に点灯 (メモリー出力モード) します。

- ・ 一度に 16 枚のフォルダを表示します。

フォルダカーソル (赤色) —

フォルダの絵が表示されている中には、本機で保存した画像が入っています。

フォルダ画像 (サムネイル) —
 iP Viewer で作成したタイトルの画像を縮小表示します。
 タイトルファイルが無い場合は、フォルダの先頭の画像を縮小画面で表示します。
 この中に画像ファイルがあります。

【フォルダ一覧表示】

説明のための番号で実際には 1 ~ 16 の番号で表示されます。



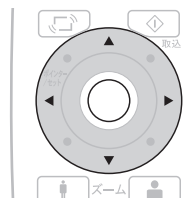
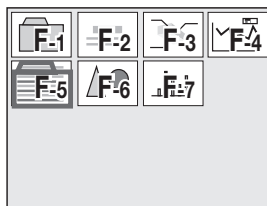
【本体での操作】
 静止画 LED (オレンジ色)



【リモコンでの操作】

3 フォルダを選択する

リモコンのスクロール ▲▼◀▶ ボタンを押して、フォルダカーソルを映したいフォルダ画像に合わせます。
 フォルダ画像が 16 を超える場合、スクロールボタンを押すと別のページに切り替わります。

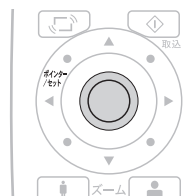
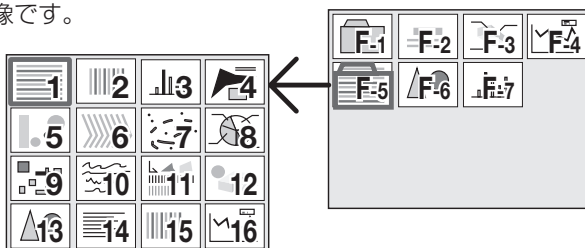


【リモコンでの操作】

4 ファイル一覧を開く

リモコンのセット / ポインターボタンを押してファイル一覧を開きます。

- ・ フォルダ一覧に表示される画像は、ファイル一覧で 1 枚目にある画像です。



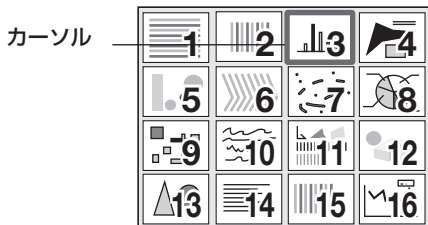
【リモコンでの操作】

お知らせ 縦向きに切り替えて保存した画像は、縮小画面で横向きになっていても全画面にすると縦向きの画像になります。

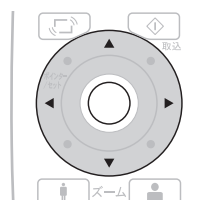
5 ファイルを選択する

リモコンのスクロール ▲▼◀▶ ボタンを押して、カーソルを映したい縮小画像に合わせます。

縮小画面が 16 枚を超える場合、スクロール ▼ ボタンを押すと 17 枚目からの縮小画面が表示されます。



お知らせ 本機で再生できない画像ファイルは表示されません。

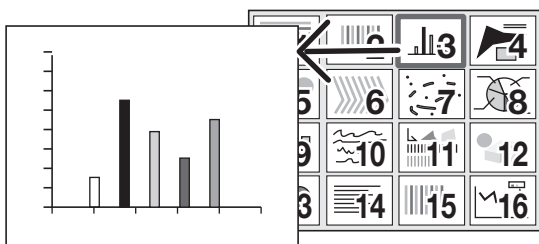


【リモコンでの操作】

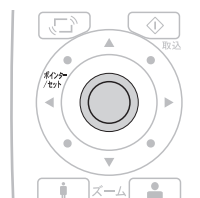
6 全画面で映す

リモコンのセット/ポインターボタンを押します。

カーソル位置の縮小画像がプロジェクタの投写画面一杯に映ります。

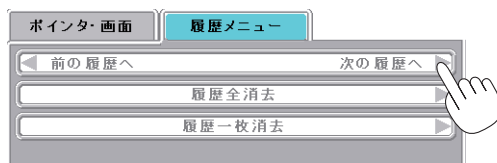


ページを送るときは、メニューの次へ（前へ）を選択します。



【リモコンでの操作】

【画面での操作】



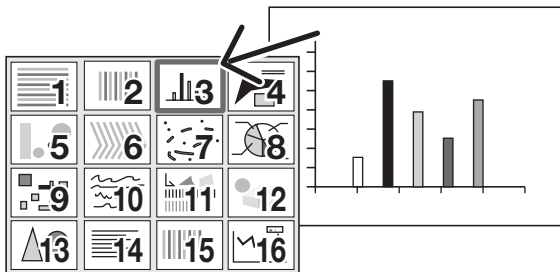
7 他の画像を選択する

リモコンの履歴ボタンを押して、ファイル一覧表示に戻します。

フォルダ内の別の画像の選択はスクロール ▲▼◀▶ ボタンを押して、選択します。

フォルダ一覧に戻すには、もう一度履歴ボタンを押します。

手順3から操作を行って目的の画像を選択します。



【リモコンでの操作】

8 OHP の画像を映す / 終了する

リモコンの解除ボタンまたは OHP ボタンを押してください。

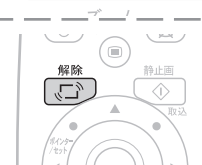
SD メモリーカードを取り出す場合は、OHP 選択にしてから取り出してください。

SD メモリーカードの取り出しは 15 ページ

お知らせ SD メモリーカード内の画像データを PC で操作する場合は、SD メモリーカードからコピーしたデータを扱ってください。



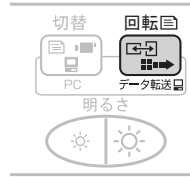
【本体での操作】
静止画 LED（消灯）



【リモコンでの操作】

取り込んだ画像を転送する (※)

USB ケーブルで接続されている場合、パソコンに履歴画像を転送することができます。



【本体での操作】

PC・コンポーネントビデオ入力：
データ転送ボタンを押します。

OHP 入力：
データ転送ボタンを長押しします。



【リモコンでの操作】

PC・コンポーネントビデオ入力：
回転ボタンを押します。

OHP 入力：
入力選択で PC を選び、その後回転ボタンを押します。

お知らせ

- iP Viewer 操作の仕方は、添付の「iP Viewer ソフトウェアクイックリファレンス」または iP Viewer の「取扱説明書」をご覧ください。
 - 転送すると、プロジェクトに保存されていた履歴画像は消去されます。
 - SD メモリーカード挿入時は転送できません。
- (※) iP-65S のみの機能です。

音量を調整する

PC・VIDEO 入力時のみ有効



音量調整バー

【本体での操作】

本体の操作パネルで音量調整はできません。



【リモコンでの操作】

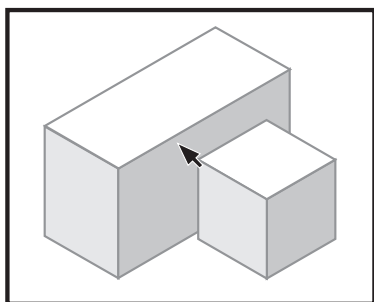
音量+/- ボタンで調整します。

お知らせ

音量調整バーを表示させた状態で数秒間操作がない場合、音量調整バー表示が消えます。

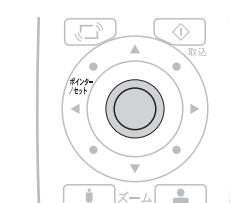
ポインターを表示する

現在投写している映像にポインターを表示します。



【本体での操作】

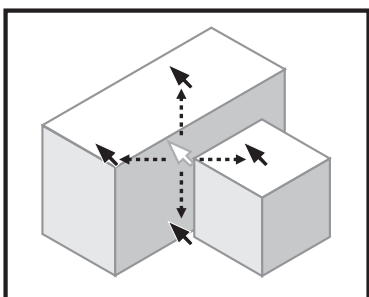
本体の操作パネルでポインターの表示／非表示はできません。



【リモコンでの操作】

セット／ポインターボタンを押します。
ポインターが表示されている状態でもう一度セット／ポインターボタンを押すとポインター表示が消えます。

●ポインターを移動させるには

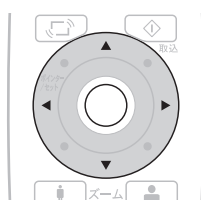


スクロール



【本体での操作】

スクロール ▲▼◀▶ ボタンを押します。



【リモコンでの操作】

スクロール ▲▼◀▶ ボタンを押します。

ポインターの「形状」「色」「サイズ」については 43 ページ参照

お知らせ

ポインターを表示しているときに明るさの調整、又は音量調整を行なうと一時的にポインターが消えますが、明るさ調整後、又は音量調整後に再表示します。

キーストン補正（台形補正）中、ポインターを表示した際に、ポインター色が縞模様のようになることがありますが、故障ではありません。

投写画面と音声を消す

ランプを消灯せずに現在投写している映像／音声を消します。

【本体での操作】

本体の操作パネルで投写画面を消すことはできません。



【リモコンでの操作】

消画ボタンを押します。

消画画面の設定については 43 ページ参照

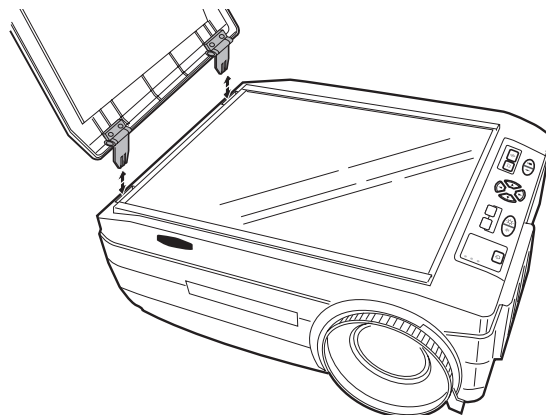
お知らせ

映像／音声を消したままで、一定時間（約 30 分間）経過すると本機を終了する確認のメッセージが表示されます。「Yes」を選ぶとスタンバイ状態になり、「No」を選ぶと映像／音声が再び消えます。また、確認メッセージ表示中、15 秒間操作がない場合は自動的にスタンバイ状態になります。

OHP 操作の方法

資料カバーの取付け

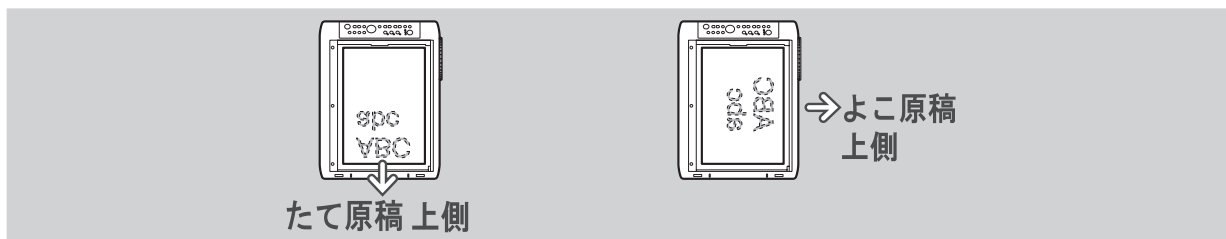
状況にあわせて資料カバーを取り外すことができます。



お知らせ 資料カバーをはずす時は、両手でカバーを持ってはずしてください。

投写原稿の準備

投写する原稿（資料／印刷物等）は下図のようにして本機に乗せ、資料カバーを閉じてください。



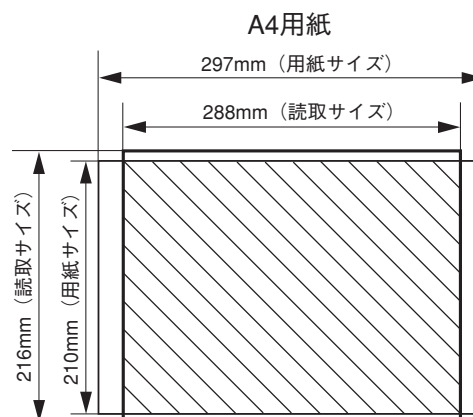
お知らせ

- 資料カバーを閉じなくても映すことはできますが、その場合余分なものが映り込んで映像が見にくくなる場合があります。
- 雑誌の表紙など光沢のある紙や黒い紙を載せた場合、内部蛍光灯が写り込み、投写された資料の端が見えにくくなる場合があります。

投写原稿の読み取りサイズ

資料や印刷物を読み取れる最大サイズは、縦 216mm、横 288mm です。

従って、A4（縦 210mm、横 297.5mm）の用紙を置いた場合は下図のようになります（斜線部が映せる範囲です）。



読み取り範囲からはずれた部分は画面に映りませんので、用紙をずらしてご使用ください。

その他、OHP 操作時に使う機能は下記のページをご参照ください。

- 入力を OHP に切り換える ➡ 28 ページ参照
- 投写画面を静止画表示にする ➡ 31 ページ参照
- 投写画面を取り込む ➡ 31 ページ参照
- 取り込み画像を閲覧する ➡ 32 ページ参照

メニューの構成

入力選択によって調整／設定項目や内容が異なり、その入力で可能な調整／設定項目をメニュー表示します。



	ポインタ・画面	履歴メニュー	映像調整	設置設定
OHP 入力時	ポインタ形状	一覧表示枚数 (一覧表示時のみ)	赤	キーストン
	ポインタ色	◀前の履歴へ 次の履歴へ▶ (一枚表示時のみ)	青	言語選択
	ポインタサイズ	履歴全消去	カラーモード	投映方式
	消画面面	履歴一枚消去		エコモード
	保存画質			オートパワーオフ
	RGB-OUT 選択			ランプ使用時間
	SD フォーマット			入力信号
PC 入力時 (RGB)	ポインタ形状		コントラスト	キーストン
	ポインタ色		明るさ	言語選択
	ポインタサイズ		赤	投映方式
	消画面面		青	エコモード
	PC 入力		輪郭強調	オートパワーオフ
	RGB-OUT 選択		カラーモード	ランプ使用時間
			同期調整	入力信号
PC 入力時 (コンポーネント)	ポインタ形状		コントラスト	キーストン
	ポインタ色		明るさ	言語選択
	ポインタサイズ		色の濃さ	投映方式
	消画面面		色あい	エコモード
	PC 入力		輪郭強調	オートパワーオフ
	RGB-OUT 選択		カラーモード	ランプ使用時間
			映像信号選択	入力信号
VIDEO 入力時	ポインタ形状		コントラスト	キーストン
	ポインタ色		明るさ	言語選択
	ポインタサイズ		色の濃さ	投映方式
	消画面面		色あい	エコモード
	RGB-OUT 選択		輪郭強調	オートパワーオフ
			カラーモード	ランプ使用時間
			映像信号選択	入力信号

お知らせ 履歴表示時は映像調整、設置設定は行えません。

メニューの操作方法

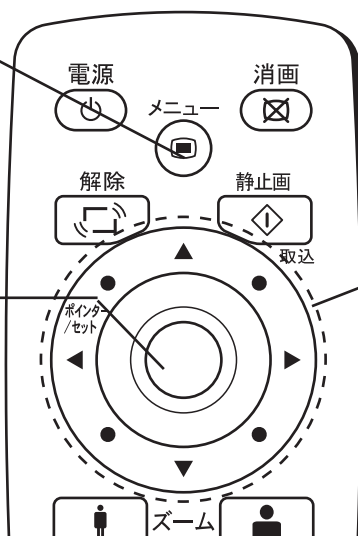
メニュー操作で使うボタンの名称とはたらき

メニューボタン

メニューの表示とメニューを閉じるときに使用します。

ポインター／セットボタン

設定・調整後の決定に使用します。



スクロール ▲▼◀▶ ボタン

メニュー名の選択と項目名の選択、項目内容の設定・調整に使用します。

メニュー各部の名称とはたらき

メニュータブ

選択するとそれぞれのメニューに切り換わります。



カーソル (水色)

設定／調整をしたい項目を選択します。

調整バー

バーの増減で調整状態を表します。

設定／調整をした項目を標準値 (工場出荷時の状態) に戻します。

サブメニューアイコン

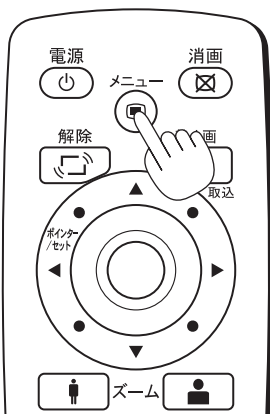
このアイコンがある項目を選択すると、サブメニューに切り換わります。



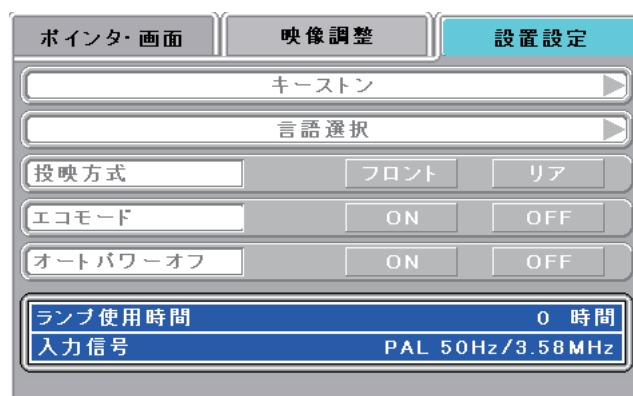
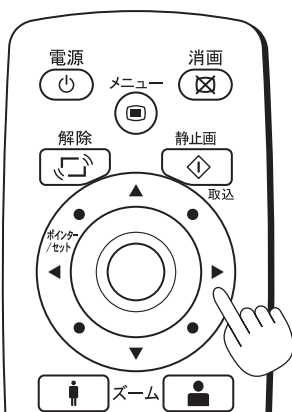
メニューの操作方法

実際の操作方法を説明します。例としてリモコンで「キーストン（マニュアル）」（台形補正）の調整を行います。

1 メニューボタンを押して、メニューを表示させる

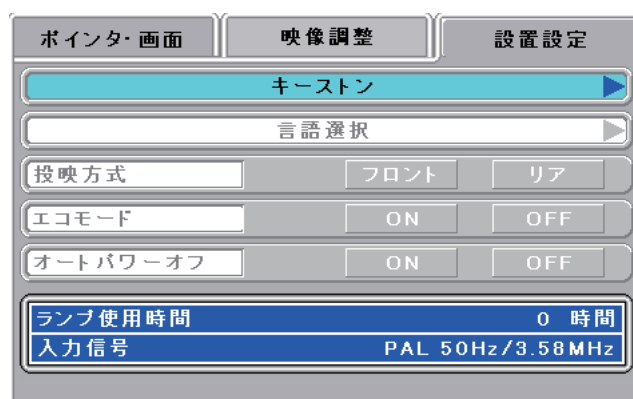
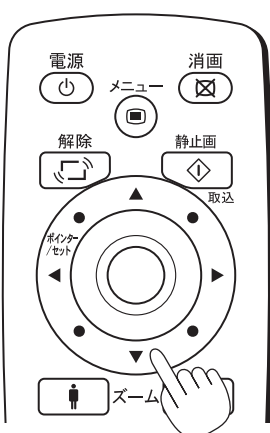


2 スクロール ◀▶ ボタンで「設定設定」を選択する



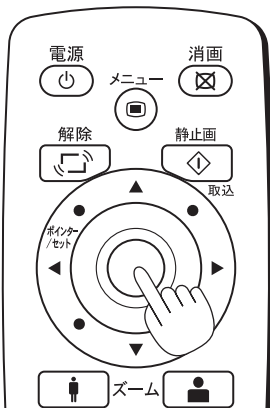
スクロール▶ ボタンを押すごとに「ポインタ・画面」→「映像調整」→「設定設定」の方向へメニューが切り換わり、スクロール◀ ボタンを押すごとに逆方向へ戻ります。

3 スクロール ▼ ボタンで「キーストン」(台形補正) を選択する



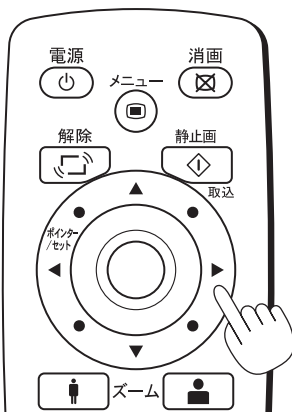
カーソルを移動し、「キーストン」を選択します。

4 セットボタンを押す



サブメニュー（キーストンの調整メニュー）に切り換わります。

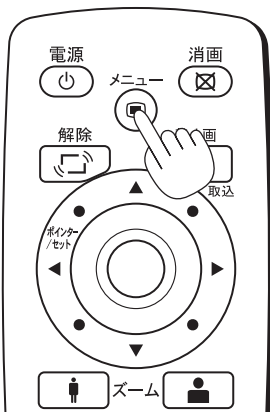
5 投写画面を確認しながらスクロール ◀▶ ボタンで調整する



縦
スクロール ◀ ボタン：押すごとに垂直方向の数値が下がります。（投写画面下部が狭くなります）
スクロール ▶ ボタン：押すごとに垂直方向の数値が上がります。（投写画面上部が狭くなります）

横
スクロール ◀ ボタン：押すごとに水平方向の数値が下がります。（投写画面左側が狭くなります）
スクロール ▶ ボタン：押すごとに水平方向の数値が上がります。（投写画面右側が狭くなります）

6 メニューボタンを押して、メニューを閉じる



これで [キーストン (マニュアル)] の調整が終わりました。

メニュー説明

ポインタ・画面設定

ポインタの形状／色／サイズを選択します。

- ポインタ形状.....ポインタの形を2種類から選択します。
- ポインタ色.....ポインタの色を3種類（赤・白・青）の中から選択します。
- ポインタサイズ.....ポインタの大きさを3段階で変更することができます。
- 消画面面.....消画時に表示する画像を設定します。
黒：全黒画面を表示します。
壁紙：壁紙画像を表示します。
- RGB-OUT 選択.....PC/OHP: 入力選択がOHPの時、OHP映像を出力します。
入力選択がPC・VIDEOの時はPC入力映像が表示されず。
OHP: 入力選択に関わらず、OHP映像を出力します。
- 保存画質.....OHPの資料を履歴に保存する場合の画質を選択します。
Fine：保存時のサイズが大きくなり、保存枚数が少なくなりますが高品質の画質で保存します。
Standard：多くのファイルを保存することができますが、画質は粗くなります。
- SDフォーマット.....SDメモリーカードのフォーマット*を実行します。
※フォーマット形式はFAT16です。

お知らせ SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチが書き込み禁止になっているときはフォーマットできません。

- PC入力.....入力信号（RGB／コンポーネントビデオ）を選択します。
RGB：PCの映像を投写する場合、こちらをご使用ください。
コンポーネント*：D1～D4映像のビデオを投写する場合、こちらをご使用ください。

※コンポーネントを選択した場合、ビデオの音声はビデオ音声入力端子に接続してください。

※コンポーネントを選択した場合、RGB信号（PC1、PC2の映像）を入力しないで下さい。正常に表示しません。



履歴メニュー

OHP 入力時のみ

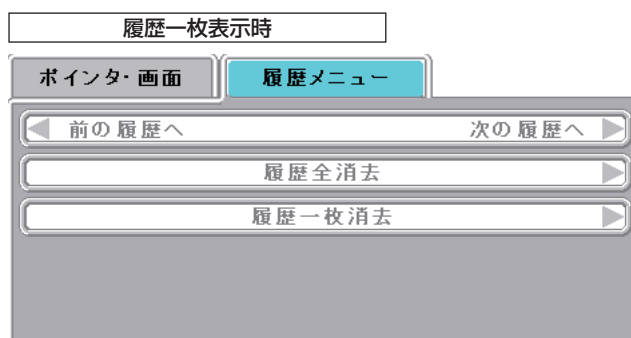
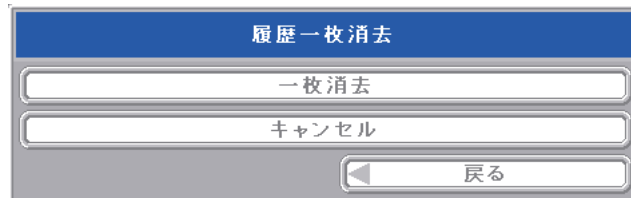
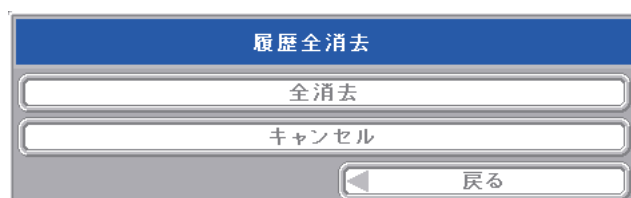
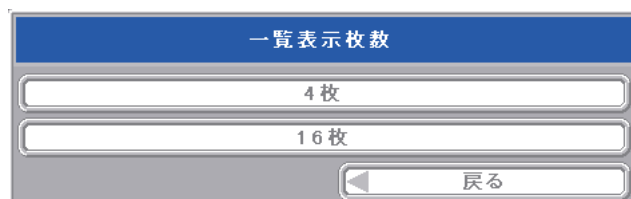
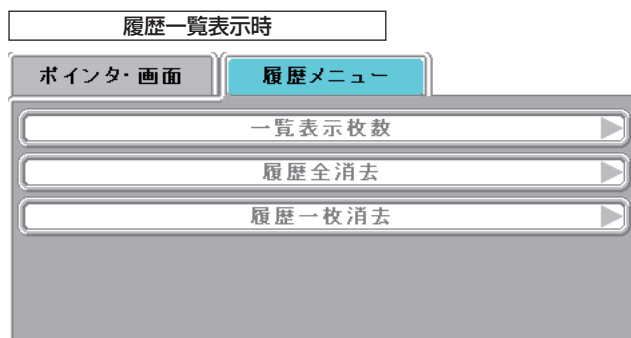
●一覧表示枚数.....一覧で同時に表示させるサムネイル画像の数を選択します。
 4 枚：一覧で 4 枚のサムネイル画像が同時に表示されます。
 16 枚：一覧で 16 枚のサムネイル画像が同時に表示されます。(SD メモリーカードの画像を表示する場合は、16 枚表示固定です。)

●履歴全消去確認画面が表示されるので、「全消去」を選択し、セット/ポインターボタンを押すと内蔵メモリーに保存されている OHP 履歴画像をすべて消去します。
 SD メモリーカード利用時は現在表示しているファイルが格納されたフォルダ内の全てのデータを消去します。

●履歴一枚消去.....現在表示されている履歴画像を消去し、次の履歴画像を表示します。

OHP 履歴一覧から選んだ一枚を投写中のみ以下の項目が表示されます。

●前の履歴へ 次の履歴へカーソルを合わせリモコンの ◀ ボタンで「前の履歴へ」、▶ ボタンで「次の履歴へ」を選択します。
 前の履歴へ：現在投写している履歴画面の前にメモリーされている履歴画面へ切り換えます。
 次の履歴へ：現在投写している履歴画面の次にメモリーされている履歴画面へ切り換えます。

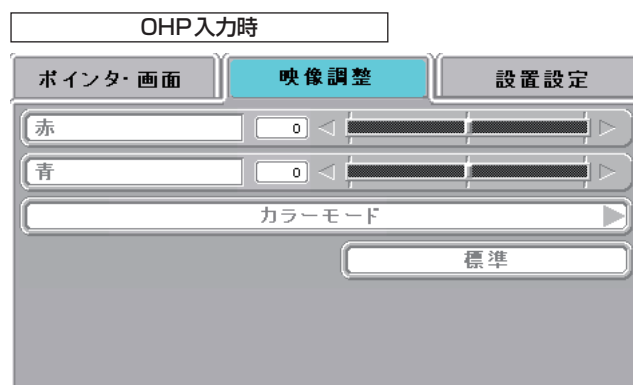


映像調整

投写された映像に関する設定・調整を行います。

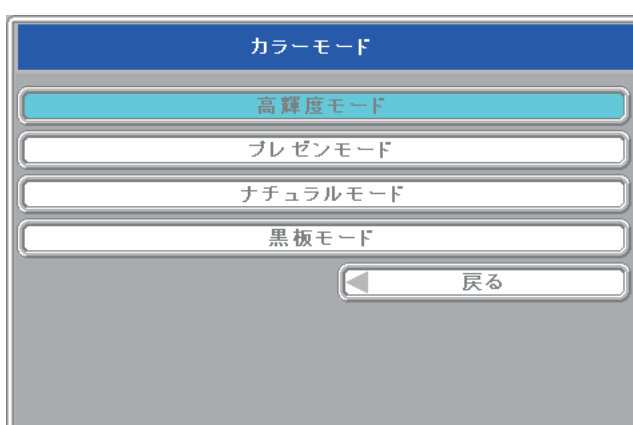
OHP 入力を選択した場合

- 赤（赤色調整）..... 赤色の濃淡を -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 青（青色調整）..... 青色の濃淡を -50 ~ 50 の範囲で調整します。



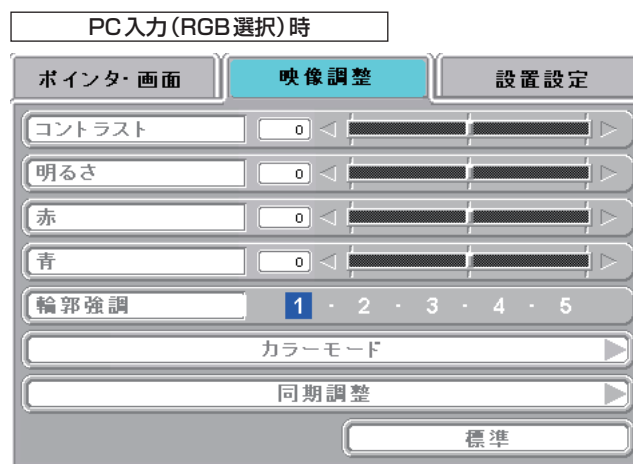
サブメニュー：カラーモード

- 高輝度 コントラストが強く、メリハリの効いた映像を表示します。
- プレゼン プレゼンテーション（PC 投映）に適した色で表示します。
- ナチュラル 自然な色合いで表示します。
- 黒板 黒板に映像を投写するときを使用します。



PC 入力（RGB）を選択した場合

- コントラスト..... 投写された映像のコントラストを -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 明るさ 投写された映像の明るさを -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 赤（赤色調整）..... 赤色の濃淡を -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 青（青色調整）..... 青色の濃淡を -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 輪郭強調 投写された映像の鮮明度を 5 段階から選択します。数値が大きくなるに従い、映像の輪郭がはっきりします。



サブメニュー：同期調整

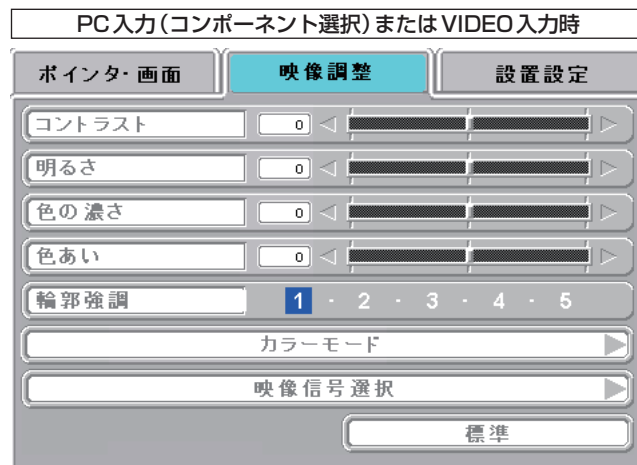
- CLOCK (クロック) 投写された映像の水平サイズを -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- PHASE (フェーズ) 投写された映像のノイズ / ちらつきを -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 水平位置 投写された映像の水平位置を -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 垂直位置 投写された映像の垂直位置を -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 自動調整 自動で同期調整を行います。



お知らせ PC 入力信号によっては -50 ~ 50 まで変化しない場合があります。

PC 入力 (コンポーネント) または VIDEO 入力を選択した場合

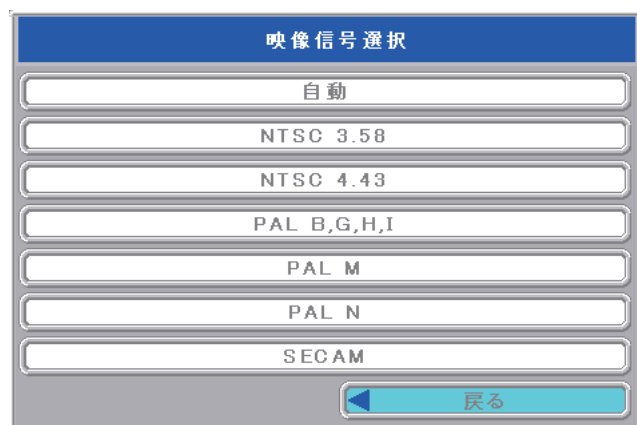
- コントラスト 投写された映像のコントラストを -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 明るさ 投写された映像の明るさを -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 色の濃さ 色の濃淡を -50 ~ 50 の範囲で調整します。
- 色あい 色あいを -50 ~ 50 の範囲で調整します。数値が低くなるごとに緑がかり、数値が高くなるごとに赤みがかります。
- 輪郭強調 投写された映像の鮮明度を 5 段階から選択します。数値が大きくなるに従い、映像の輪郭がはっきりします。



サブメニュー：映像信号選択 (VIDEO 入力時のみ有効)

入力信号方式を選択します。

自動 (自動的に信号方式を検出します) / NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL B,G,H,I / PAL M / PAL N / SECAM



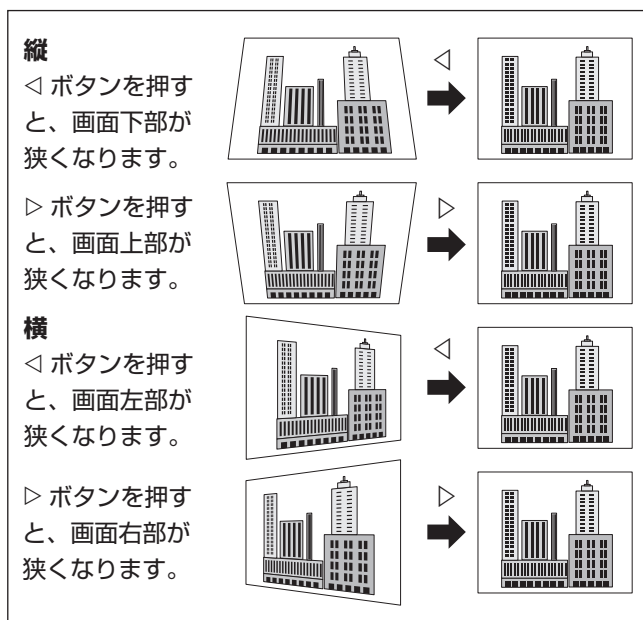
設置設定

プロジェクタ本体や、プロジェクタ使用時に関する設定を行います。

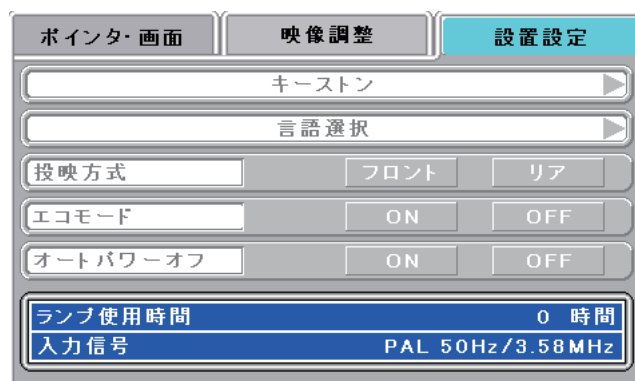
- ランプ使用時間..... ランプの使用時間が表示されます。
「ランプユニットの交換」 51 ページ参照
- 入力信号 現在、選択されている入力の名前が表示されます。

設定項目

- キーストン（台形補正）..... 縦、横独立して± 35°の範囲で投写画面の台形補正を行います。



- 言語選択 メニューおよびメッセージの表示言語を日本語／英語から選択します。



自動調整(*)をONにすると自動的にプロジェクタの傾きを検出し、± 35°の傾き範囲で台形補正を行います。一度自動調整を行なうと、これ以降は約3°以上傾きに変化があるか、再起動したときに自動的に補正を行いません。なお、自動で調整されるのは縦方向のみで横方向の状態は維持されます。

(※) 自動調整は iP-65S のみの機能です。



次ページに続きます

お知らせ

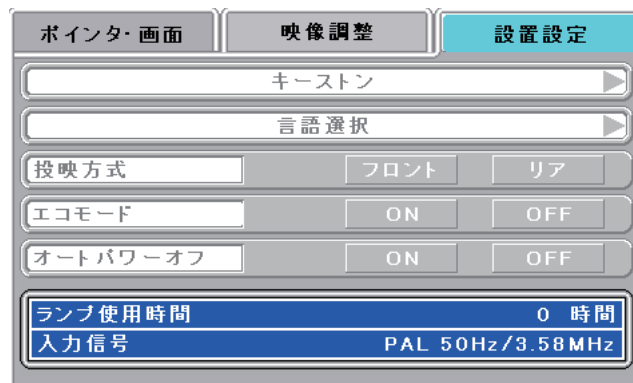
- キーストン（台形補正）を行った場合、画面端の解像度が低下し、小さな文字などが見えにくくなります。解像度を落とさないときは、水平な台の上に設置し、キーストンメニューの数値を"0"（補正無し）に設定してください。
- キーストン（台形補正）は、画像処理を行っている関係で、処理を行わない場合に比べ表示画像（文字等）が多少にじんで表示されます。
- VGA 解像度（640 × 480 ドット）より小さい解像度を表示してキーストン（台形補正）をいっぱいかけると、映像の一部が欠ける場合があります。詳しくは 24 ページをご覧ください。
- 自動調整が"ON"のときにキーストン（台形補正）のマニュアル調整を行うと、マニュアルでの調整が有効になりますが、自動調整の設定は"ON"のままです。
 マニュアルでの調整後にプロジェクタ本体を大きく傾けたり、再起動するとマニュアルでの調整は無効になり、自動調整機能が有効になります。マニュアルでの調整結果を保持するには、マニュアルで調整した後、自動調整を"OFF"にしてください。

メニュー説明

- 投映方式 プロジェクタの投映方式をフロント（正面投写）／リア（背面投写）から選択します。

- エコモード ON（エコモード）：
ランプの設定を省電力モードにします。
OFF（ノーマルモード）：
ランプの輝度が 100% になります。明るい画面になります。

- オートパワーオフ ON を選択した場合、PC・コンポーネントビデオ入力または VIDEO 入力時に「No Sync」の状態が 15 分間続くとランプを消灯します。



異常保護

本機には、異常による火災や故障を未然に防ぐために、保護回路が内蔵されています。

●ランプ / カバー LED が赤色に点灯しているとき

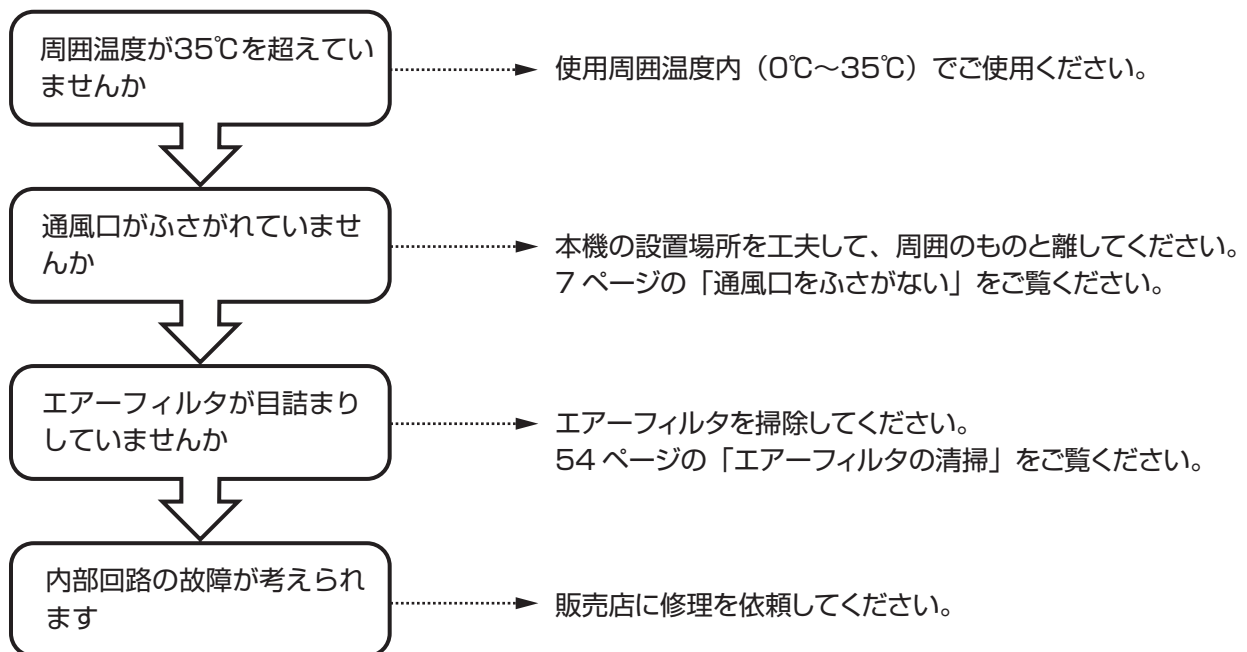
○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. ランプユニットカバーを正しく取り付けてください。51 ページの「ランプユニットの交換」をご覧ください。
3. エアークフィルタを正しく取り付けてください。54 ページの「エアークフィルタの清掃」をご覧ください。

●温度 LED が赤色に点滅・点灯したとき

○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 次のことを調べ、正しく対処してください。



※温度 LED が消えているときが、正しく動いている状態です。

※同時にランプ / カバー LED が赤色に点灯している場合はランプを交換してください。
交換のしかたは 51 ページをご覧ください。

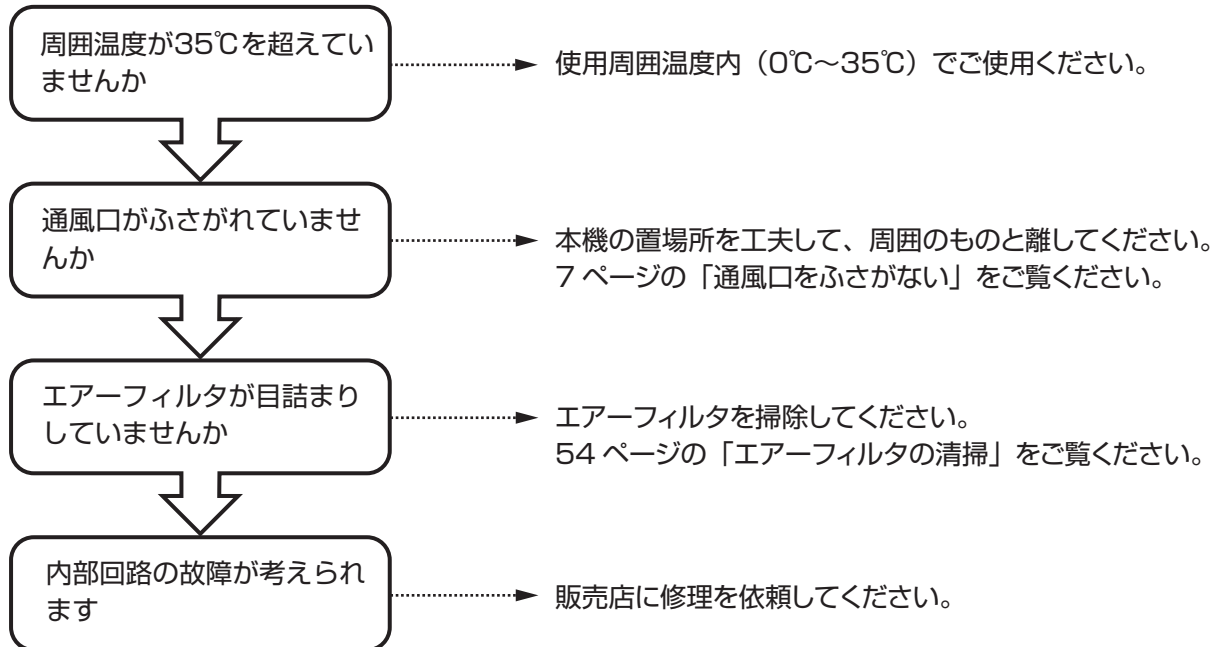
※温度 LED の点滅は温度異常の警告です。

点滅がはじまって 10 秒経過しても使用状況が変わらない場合、温度 LED は点灯にかわり、ランプは消灯します。

●電源が急に切れたとき（電源 ON で全ての LED が消灯しているとき）

○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 次のことを調べ、正しく対処してください。



ランプユニットの交換

本機で使用している投写ランプの交換の目安は下記の通りです。(使用条件によっては早まる場合があります。)
使用時間が 1500 時間*を超えると破裂の確率が高くなるため、強制的にランプを消灯するようにしています。

ランプ使用時間が 1400 時間を超えた場合、1500 時間に達するまでに、ランプユニット（別売品）の交換をしてください。

また、映像が暗くなったときもランプの寿命ですので新しいランプユニットに交換してください。

● 「ランプ使用時間」が 1400 時間になったとき

プロジェクタの投写表示

ランプ使用時間が 1400 時間を超えると表示されます。

ランプ交換時間になりました。
ランプを交換してください。

本体の操作パネル

ランプ / カバー LED が赤色に点滅します。

ランプ使用時間は、「設置設定」メニュー内に表示され、確認することができます。

● 「ランプ使用時間」が 1500 時間を超えたとき

プロジェクタの投写表示

ランプが点灯せず投写できなくなります。



本体の操作パネル

ランプ / カバー LED が赤色に点灯します。



* メニュー画面で表示される「ランプ使用時間」はノーマルモード、エコモード両方の使用時間をノーマルモードの使用時間に換算した値を表示しています。

このため、いつもエコモードで使用した場合、実際の使用時間では 2900 ~ 3000 時間がランプ交換の目安ですが、メニュー画面ではランプ使用時間が 1400 ~ 1500 時間でランプ交換時間の目安となります。

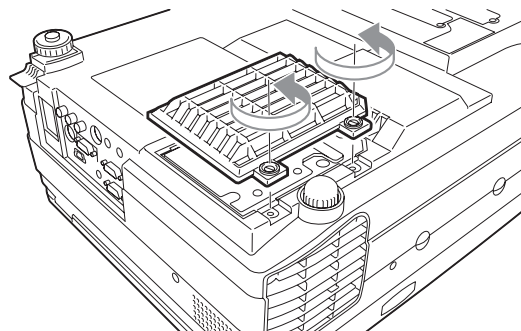
<p> 警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本機を使用した直後はランプユニットを交換しないでください。 ランプが高温になっているため、やけどをする恐れがあります。電源プラグをコンセントから抜き、1 時間以上たってからランプを交換してください。 ランプユニットのガラス部分に手を触れないでください。輝度が低下したり、ランプの寿命が短くなる恐れがあります。 本体内部にはランプやミラーなどのガラス部品を多数使用しています。万一、ガラス部品が割れたときは、破片でけがをしないように取り扱いには十分注意し、販売店または弊社カスタマサポートセンターに修理を依頼してください。
<p> 注意</p>	<p>専用のランプキット（型名：IPLK-H1）をご指定ください。</p>

●ランプユニットの交換手順

やけど防止の為、以下の手順はランプ消灯後、1時間以上たってから実施してください。

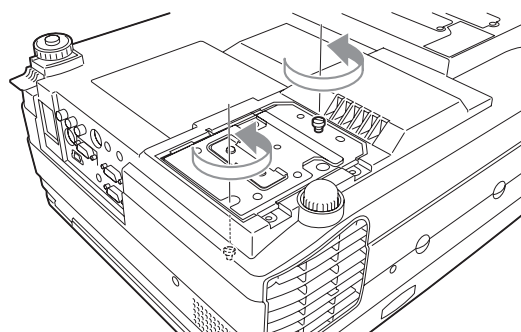
1 ランプユニットカバーを外す

マイナスドライバーを使用して、ランプユニットカバーのネジ(2本)をゆるめます。



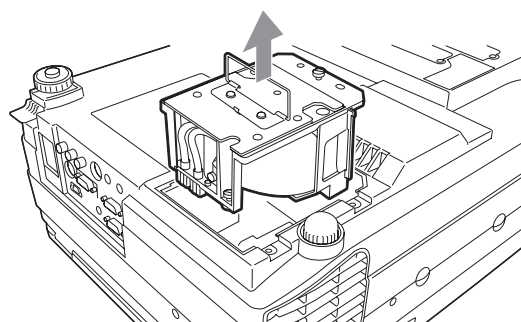
2 ランプユニットの取付ネジをゆるめる

マイナスドライバーを使用して、ランプユニットのネジ(2本)をゆるめます。



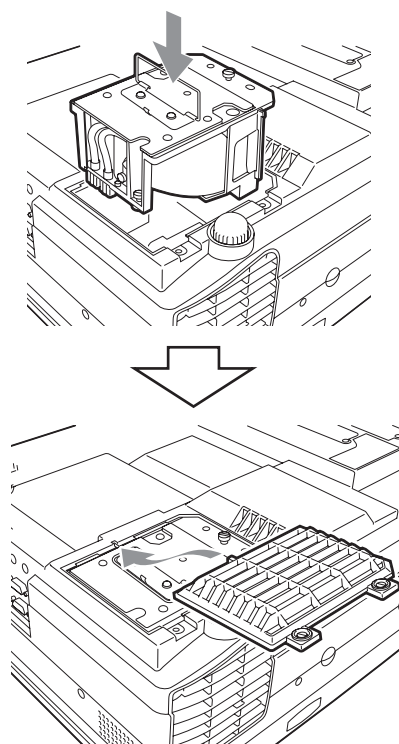
3 ランプユニットを引き抜く

ランプユニットの取手を持って、上に引き抜きます。



4 新しいランプユニットを取り付ける

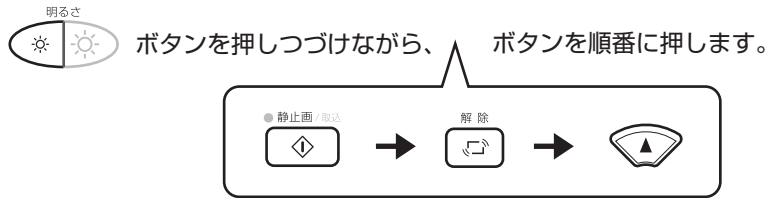
- ① ランプユニットを持って中に押し込みます。
- ② ランプユニットの取付ネジ(2本)を締めます。
- ③ ランプユニットカバーにある2ヶ所のツメを本機に合わせツメ側より取り付けます。ランプユニットカバーの取付ネジを締めます。



5 ランプ使用時間をリセットする

以下に示す操作は**スタンバイ状態**（※）で行ってください。

【本体での操作】



【リモコンでの操作】

リモコンでのランプ使用時間リセットはできません。

その後、ランプ / カバー LED が緑色に点滅し、投写が開始されます。

（※）電源プラグをコンセントにさし、オン/スタンバイ LED のみ赤色に点灯している状態。



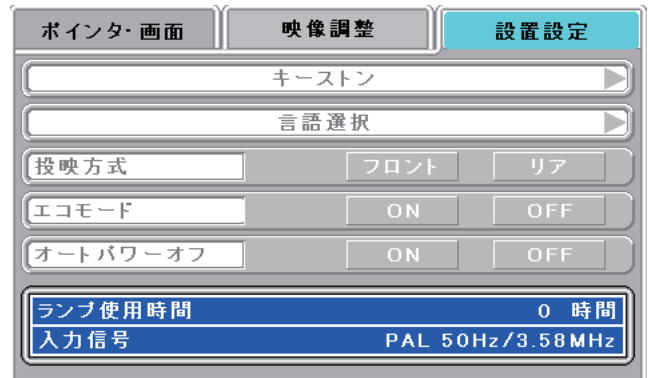
注意

- ランプ交換せずにランプ使用時間をリセットしないでください。
1500 時間を越えて使用するとランプが破裂する確率が高くなります。

6 ランプ使用時間の表示が右図のように「0 時間」になっていることを確認する

リセットされていない場合は再度ステップ 5 によりリセットしてください。

ランプ使用時間はリモコンのメニューボタンを押してメニューを表示させ、スクロール ◀▶ ボタンで設置設定を表示させることにより、確認してください。



注意

- リセットせずに使用すると、正しいランプ使用時間がわからなくなりますので、ランプ交換後には必ずリセットしてください。表示が 1500 時間を超えると、ランプの寿命にかかわらず強制的にランプを消灯するようにしています。

お知らせ

- 安全のため、ランプユニットカバーが装着されていないと、ランプが点灯しないようになっています。
- ランプユニットは、別売品のランプキットとしてエアフィルターとセットになっていますので、ランプユニット交換の際はエアフィルターも一緒に交換してください。（54 ページをご覧ください）
- ランプユニットの廃棄については一般家庭用の蛍光灯と同分類とし各自治体の廃棄方法に従ってください。

エアフィルタの清掃

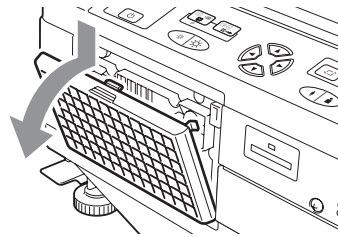
エアフィルタは、本機の内部の光学部品などへのほこりの侵入を防ぐ大切な部品です。目詰まりを起こすと内部の温度が上昇し、ファンの回転も上昇して寿命低下や故障の原因になりますので、**定期的（1日4時間使用した場合、1カ月に1回程度）に清掃してください。**

尚、ほこりが落ちにくくなった場合は新しいエアフィルタと交換してください。

●エアフィルタ清掃の手順

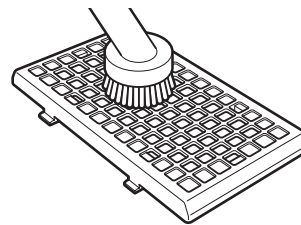
1 エアフィルタカバーを外す

エアフィルタのツメを下へ押しながら、外側へ倒すようにしてエアフィルタを外します。



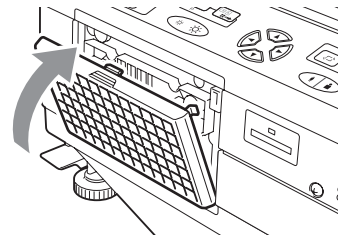
2 ほこりを吸い取る

図のように、エアフィルタの外側（凸側面）から、掃除機でほこりを吸い取ってください。



3 取り付ける

取り付けは取り外しの逆の手順で行います。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



注意

エアフィルタのお手入れおよびご注意

- 水やお湯で洗わないでください。目詰まりの原因になります。
- 布やぬれぞうきんでふかないでください。目詰まりの原因になります。
- 必ず、外側（凸側面）からほこりを吸い取ってください。内側から吸い取ると、フィルタ効果が損なわれます。
- エアフィルタの装着忘れに注意してください。装着せずに本機を放置しておくと、内部にほこりが侵入して映像が汚くなることがあります。
- エアフィルタが破損したときは、必ず新しいエアフィルタに交換してください。破損したまま本機を使用すると、内部にほこりが侵入して映像が汚くなる場合があります。

お知らせ

エアフィルタは、別売品のランプキット（型名：IPLK-H1）としてランプユニットとセットで購入することができます。

故障かな…と思ったら

故障かな？と思ったら修理を依頼される前に次のことをお調べください。

症状	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない	・電源コードが抜けていませんか。	26
投写ランプが点灯しない	・ランプユニットカバーが装着されていますか。 ・内部温度が高くなっていますか。保護のためランプは点灯しません。 ・ランプ使用時間が 1500 時間を越えていますか。	52 49 51
映像が出ない	・接続されている入力を選んでいませんか。 ・接続機器のケーブルは正しく接続されていますか。 ・「映像調整」メニューの「明るさ」、「コントラスト」がマイナス側いっぱいには設定されていませんか。 ・パソコン側の機能を調べてみましたか。	28 21, 25 45 23
映像が歪む	・正しく設置されていますか。 ・キーストン（台形補正）を行っていませんか。	19 47
映像がぼける	・フォーカスを合せてありますか。 ・投写距離がフォーカスの合う距離範囲に入っていますか。 ・キーストン（台形補正）を行っていませんか。 ・レンズキャップはついていますか。	27 20 47 13
映像がちらつく	・「同期調整」メニューの「PHASE（フェーズ）」を調整してください。	46
映像がずれる	・「同期調整」メニューの設定は合っていますか。	46
色がずれる	・「同期調整」メニューの「PHASE（フェーズ）」を調整してください。	46
音がでない	・音量調整が最小に設定されていませんか。	36
キャビネットから「ビシッ」という音がする	・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。 性能その他に影響はありません。	—
リモコンが動作しない	・電池がされていませんか。または消費していませんか。 ・リモコン受光部に照明などの光が当たっていませんか。 ・本機のリモコン受光部がふさがれていませんか。 ・インバータ機器が近くにありませんか。	7, 18 18 18 18
パソコン入力選択時、映像の位置がずれる、または圧縮表示される	・「同期調整」メニューで調整してください。	46
「フォーマットされていないSDカードです」と表示される	・フォーマットされていますか。本機でフォーマットを実行してください。 一度SDメモリーカードを抜き、2,3秒後に挿入し直してみてください。 改善されない場合は、SDメモリーカードを確認してください。	43 15
SDメモリーカードに正常にアクセスできない	・SDメモリーカードが壊れていませんか。 他の機器でご使用できるか確認して下さい。 (全てのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません)	—
SDメモリーカードから再生できない	・iP Viewer 又は、iP Viewer Tool 以外で画像を保存していませんか。 iP Viewer 又は、iP Viewer Tool を使用してください。	34
「書き込み中にエラーが発生しました」と表示される	・SDメモリーカードが保護状態になっていませんか。 書き込み禁止（ライトプロテクト）スイッチを解除してください。	—
温度LEDが赤色に点灯する	・「異常保護の処置」のページに従ってください。	49
ランプ/カバーLEDが赤色に点灯する	・ランプユニットカバーが外れていませんか。 ・ランプ使用累積時間が1500時間を越えていますか。	52 51
ランプ/カバーLEDが橙色に点灯する	・装置の内部異常です。カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。 ・内部部品に異常があるため修理を依頼してください。	56
iP-40でSDカードに保存したデータが閲覧できない	・iP-40とiP-65のSDカードのデータの互換性はありません。iP Viewer Tool で変換してください。	—

お知らせ その他の情報については、弊社ホームページをご覧ください。(http://www.avio.co.jp)

LED 一覧表

LED 状態			お知らせ内容	
オン/スタンバイ	ランプ/カバー	温度		
消灯	消灯	消灯	AC 電源 OFF	正常な状態
赤	消灯	消灯	スタンバイ	
緑	緑点滅	消灯	スタンバイ～投写開始 投写終了～スタンバイ	
緑	緑	消灯	投写中	
赤	赤	消灯	ファンカバーオープン ランプカバーオープン ランプ失灯 ランプ使用 1500 時間超過	アラームにより電源をOFFした状態
赤	消灯	赤	温度異常 ファン異常	
緑	赤点滅	消灯	ランプ使用 1400 時間超過	アラーム警告中
緑	緑	赤点滅	温度異常警告	

保証と修理サービス

保証について

- ・ この商品には、ユーザー登録・保守サービス案内が添付されています。10日以内に、インターネット、FAXいずれかの方法でユーザー登録をお願いします。ご登録後、正式な保証書を送付いたします。保証書をお手許にお届けするのに約2週間ほどお時間がかかります。それまでは本シートの所定の場所にシリアルナンバーシールをお貼り頂き（仮）保証書として大切に保管してください。
※保証書がない場合、保証期間中でも有料修理になる可能性があります。

保証期間

- ・ 保証期間はご購入いただいた日から1年間です。但し、ランプユニットおよびエアフィルタなどの消耗品は除きます。
- ・ 保証期間内であっても有料修理になることがありますので取扱説明書の「保証規定」をよくお読みください。
- ・ 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は有料にて修理いたします。
- ・ 光源ランプ及びその他の光学部品は寿命部品です。長時間使用された場合は修理交換が必要となります。詳しくはカスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

修理サービス

- ・ 修理を依頼される前にもう一度55ページの「故障かな…と思ったら」にしたがってチェックしていただき、なお異常があるときは販売店にご相談ください。
- ・ 修理を依頼されるとき次のことをご知らせください。

故障の状態（できるだけ詳しく）
ご購入年月日
お名前
ご住所
電話番号
品名・型名（商品底面のラベルに記載してあります）
製造番号

補修用性能部品の保有期間について

この商品の主要な補修用性能部品^(※)の保有期間は、工場出荷後5年を目安としていますが、期間経過後も保有している場合がございますので、修理可否については弊社にお問い合わせください。

なお、修理に際しては弊社で定める補修用性能部品単位の交換を基本と致します。

また、消耗品（別売）の販売終了時期については弊社担当営業又は販売代理店にお問い合わせください。

(※) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

故障・修理のお問い合わせは

日本アビオニクス株式会社 ソリューション・プロダクツ事業部 カスタマサポートセンター

TEL 0120-175411（フリーダイヤル）

FAX 0467-73-4481

mailto: support_ip@avio.co.jp

受付時間は、月曜日～金曜日までの9:00 a.m. ～ 12:00 p.m. / 1:00 p.m. ～ 5:00 p.m.
土、日、祝日および年末年始を除きます。

その他製品に関するお問い合わせは

日本アビオニクス株式会社 ソリューション・プロダクツ事業部 カスタマサポートセンター
 TEL 0120-175411 (フリーダイヤル)
 mailto: support_ip@avio.co.jp

受付時間は、月曜日～金曜日までの 9:00 a.m. ～ 12:00 p.m. / 1:00 p.m. ～ 5:00 p.m.
 土、日、祝日および年末年始を除きます。

保証規定

- ◆本製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。保証期間（お買上月日から1年間）内に正常なご使用状態で、万一故障した場合は無償で修理させていただきます。
- ◆保証期間中でも次の場合は有償で修理させていただきます。
 - 1.保証書に保証期間が記載されていない場合
 - 2.使用上の誤りおよび当社以外の者による改造、修理に起因する故障、損傷の場合
 - 3.輸送、移動時の落下等、お取扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
 - 4.火災、塩害、ガス害、異常電圧および地震、雷、風水害その他の天災地変等による故障、損傷の場合
 - 5.当社の定める標準製品以外の機器を接続し、当該機器に起因して本製品に故障を生じた場合
 - 6.説明書記載方法および注意に反するお取扱いによって生じた故障の場合
 - 7.保証書をご提示されない場合
 - 8.保証書の所定事項が未記入の場合および字句を訂正された場合

本製品に生じた故障に関し、当社は保証書に基づく無償修理以外の責任を負いません。

保証書は国内で使用される場合だけ有効です。

This warranty shall be valid in Japan.

SD カードの保証規定

- 1.弊社添付品、及びオプション品のSDメモリーカード（型名：AV-SDSC1GB）に対する保証内容およびその適用条件は次のとおりです。

当社インテリジェントプロジェクトタをご購入後1年以内に、本取扱説明書の内容に基づいた正常な使用状態および使用方法にて本製品が故障した場合に限り、無償で本製品を交換いたします。

状況により、同等製品と交換させていただく場合もありますのであらかじめご了承ください。

本保証は、当社インテリジェントプロジェクトタ及びインテリジェントプロジェクトタの取扱説明書に定めた機器、及び専用のソフトウェアにおいて本製品が使用された場合に限り有効です。
- 2.ただし、次の場合には保証対象外となります。
 - ・ユーザー登録の後、送付いたします保証書のご提示がない場合
 - ・当社及び当社指定機関以外の第三者またはお客様の、故意または過失による故障
 - ・不適切な使用状態または使用方法での故障
 - ・当社及び当社指定機関以外の第三者による分解、修理または改造に起因する故障
 - ・落雷、火災、公害、地震、及び風水害などの天災地変による故障
 - ・異常電圧、本製品を使用する機器などの外部要因に起因する故障
 - ・その他無償交換を認めたい事由が発見された場合
- 3.上記の保証内容及び適用条件に従って本製品を交換される場合は、次の要領にてお願いいたします。
 - ・販売店に本製品の交換をご依頼いただくか、カスタマーセンターにお問い合わせください。
 - ・本製品のご送付に際しては、運送方法に配慮があり、運送記録が保管される宅配便などをご利用ください。当社は、運送中の製品の破損、紛失については一切責任を負いかねます。
- 4.お客様または第三者が本製品の使用を誤ったことにより生じた故障その他不具合、および本製品を使用した結果生じた損害、すなわち当社インテリジェントプロジェクトタ及びインテリジェントプロジェクトタ取扱説明書に定めた機器での記録ができないこと、データの消失、他の機器への悪影響などを含む全ての損害については、法令上賠償責任の排除が認められない場合を除き、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 5.本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 (THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.)

仕様

型名		iP-65		
方式	三原色液晶シャッタ投写方式			
主要部 品仕様	液晶パネル	サイズ	1.0型×3枚 アスペクト比4:3	
		駆動方式	マイクロレンズアレイ付ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式	
		画素数	786,432画素 (1024×768ドット)×3	
		配列	ストライプ	
	投写レンズ	マニュアルズーム 1～1.25倍		
光源	270W 超高压水銀ランプ			
画面サイズ	最小 32～最大 300型 (投射距離 1.4m～13.9m)			
色再現性	フルカラー (1,677万色)			
明るさ	3500ルーメン			
対応走査周波数 (アナログ RGB)	水平 21～80kHz、垂直 50～85Hz			
表示可能解像度	RGB 信号入力時	1024ドット×768ドット (1600×1200ドット圧縮表示可能)		
映像入出力	OHP (実物投写部)	読取機器	総画素数 400万画素 CCD、有効画素数 300万画素	
		読取サイズ	288mm×216mm (A4相当)	
	パソコン (アナログ RGB 入力)	信号方式	セパレート信号方式	
		映像信号	アナログ: 0.7Vp-p / 75Ω	
		同期信号	セパレート/コンポジット: TTLレベル (正/負) シンクオングリーン: 0.3Vp-p (負)	
	ビデオ入力	入出力端子	ミニ D-SUB 15ピン×2	
		信号方式	NTSC / PAL / SECAM	
	モニター出力	入力端子	RCA ピンジャック×1、Sビデオ端子×1 (S端子優先)	
		映像信号	0.7Vp-p / 75Ω	
		同期信号	セパレート TTLレベル、負極性	
音声入出力	パソコン	出力端子	ミニ D-SUB 15ピン×1	
		音声信号	0.4Vrms / 47kΩ	
	ビデオ	入力端子	ステレオミニジャック×2	
		音声信号	0.4Vrms / 47kΩ	
	モニター出力	入力端子	RCA (L/R) ピンジャック×1 (ステレオ)	
		出力端子	0.4Vrms / 47kΩ ステレオミニジャック×1	
キーストン補正角	±35°			
USB 端子 *1	1系統 USBコネクタ (Mini Bタイプ) USB 2.0			
スキャナ出力	Exif JPEG (2,016×1,512ドット)			
メモリーインターフェース	SDメモリーカード *3 ×1スロット (フォーマット: FAT16)			
音声出力	1W×2ステレオ			
使用温湿度範囲	温度 0～35℃、湿度 20～80% (但し、結露なきこと)			
電源	AC100V ±10% 50 / 60Hz			
消費電力	420W			
外形寸法 (mm)	400(W) × 315(D) × 145(H) (突起部含まず、原稿カバー含む)			
質量	約 7.4kg			
付属品 *2	電源コード (3m)、リモコン、取扱説明書、ユーザー登録・保守サービス案内、乾電池 (単 3×2)、PC 接続ケーブル (2m)、レンズキャップ、iP-Viewer ソフトウェアクイックリファレンス、SDメモリーカード (1GB)			

*1 USB 端子はすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

USB 端子の接続はパソコン直結またはセルフパワーの HUB に接続してください。

USB 端子は iP-65S のみの仕様です。

*2 iP-65B の PC 接続ケーブルに USB ケーブルは付属しません。

iP-65B に「iP Viewer ソフトウェアクイックリファレンス」は付属しません。

iP-65B に SD カードは付属しません。

*3 SD メモリーカードは、弊社添付品 (型名: AV-SDSDC1GB) 及びオプション品のみ動作保証いたします。その他 SD メモリーカードについては動作保証いたしません。

SD メモリーカードの初期化 (フォーマット) は必ず本機で行ってください。他の機器で初期化した SD メモリーカードは使用できないことがあります。

記録枚数が多いと、保存/再生スピードが遅くなる場合があります。

SDHC 規格の SD メモリーカード、及び高速 SD メモリーカード (Class 6) には対応していません。

SD メモリーカード、及び SD メモリーカードスロットは、iP-65S のみの仕様です。

● 仕様、意匠は改良のため予告なしに変更することがあります。

● 本製品 (ソフトウェアを含む) は日本国内仕様であり、外国の規格等には適合していません。

● 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。

This product (including software) is designed for use in Japan only and not for use in any other country.

iP Viewer ソフトウェア (※) 「取扱説明書」を見るには

インテリジェントプロジェクトには、書込みやデータ保存などに便利な、プレゼンテーションソフト「iP Viewer」が格納されています。以下の要領で取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。

USB デバイスドライバはプロジェクト内のメモリに格納されています。このため、プロジェクトとパソコンを USB ケーブルで接続し、USB デバイスドライバ*をパソコンにインストールする必要があります。

※プロジェクトを“USB 大容量リムーバブルデバイス”としてパソコンに認識させるドライバのことで、USB 接続すると自動でパソコンにインストールされます。

* iP Viewer は iP-65S モデルのみの機能です。

■パソコンの動作条件

iP Viewer ソフトウェアを正常に動作させるには下記の項目を満たす必要があります。

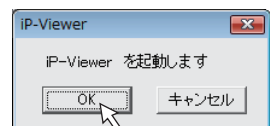
対応 OS	Windows XP、Windows Vista (64Bit 版は除く) ご注意 Windows 2000 以前の OS は iP Viewer の動作保証範囲外になります。
CPU	Celeron 800MHz 以上 (Windows Vista では、OS が推奨する CPU)
メモリ	Windows XP : 256MB 以上、Windows Vista : 1G 以上
HD 空き容量	500MB 以上推奨 (テンポラリフォルダのドライブ容量)
表示解像度	XGA (1024 × 768) 以上 ご注意 これ以下の解像度の場合 iP Viewer のポインタなどが正しく表示されません。解像度の変更はパソコンのヘルプをご覧ください。
USB ポート	USB 2.0

ご注意 iP Viewer ソフトウェアの取扱説明書を見るには、ご使用のパソコンに Acrobat Reader (4.15 以上) がインストールされていることが必要です。

準備：接続の前にプロジェクトの電源が切れていることを確認してください。

- 1 パソコンとプロジェクトを RGB ケーブルで接続する。
取扱説明書のみを見る場合、この接続は不要です (パソコンの画像投写用です)。
- 2 パソコンとプロジェクトの電源を入れる。
- 3 プロジェクトとパソコンを USB ケーブルで接続する。
接続すると USB デバイスドライバのインストールを自動で開始します。
接続のしかたは、プロジェクトの取扱説明書をご覧ください。
- 4 インストールが終了するとパソコンの再起動を要求する画面を表示しますので、[再起動] ボタンをクリックする。
これで、USB デバイスドライバのインストールが終了しました。

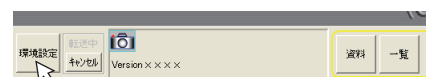
- 5 パソコンが再起動して「iP Viewer を起動します」の画面を表示しますので [OK] ボタンをクリックする。
iP Viewer が起動します。



自動でインストールを開始しない場合

- パソコンの CD-ROM の自動起動設定が「無効」に設定されていると自動で起動しません。「有効」に設定してください (設定はパソコンのヘルプをご覧ください)。
- エクスプローラなどを使って iP Viewer の CD-ROM ドライブのボリューム名 “UD-ROM” ドライブ内の “BootAP.exe” をダブルクリックして起動させてください。

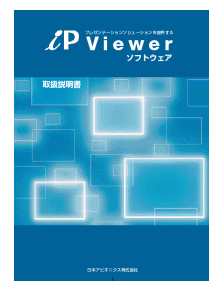
- 6 iP Viewer 画面左下の [環境設定] ボタンをクリックする。
環境設定画面を表示します。



- 7 [取扱説明書を見る] ボタンをクリックする。
“iP Viewer ソフトウェア 取扱説明書” の pdf ファイルが開きます。
終了するには、メニューバーの [ファイル] → [終了] を選択します。
Acrobat 6.0 ではメニューバーの [Acrobat] → [Acrobat を終了] を選択します。



ご注意 iP Viewer ソフトウェアを終了したり、USB ケーブルを抜く場合は、PDF ファイルの取扱説明書「2-2. ソフトウェアの終了と USB デバイスとの切断」をご覧ください正しく終了させてください。



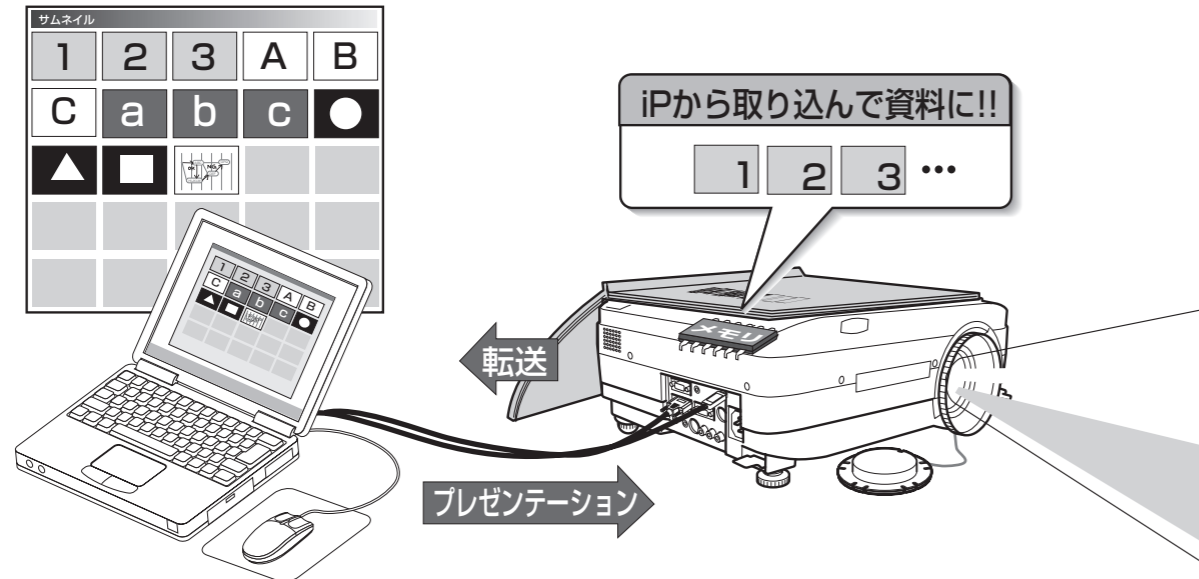
ソフトウェア iP Viewerとの連携プレゼンテーション^(※)

**iP Viewer
を使うと...**

- iPで投映しているものをパソコンに取り込む
- 取り込んだ画像に書き込む
- PowerpointやJPEGなどの画像ファイル
- ホワイトボードとして使う

【紙書類やパソコンデータなどをMIXしたプレゼンの展開】

目的の資料を選んですぐ投写



パソコン画像を資料に!!

Powerpointで作成したファイル

A B C

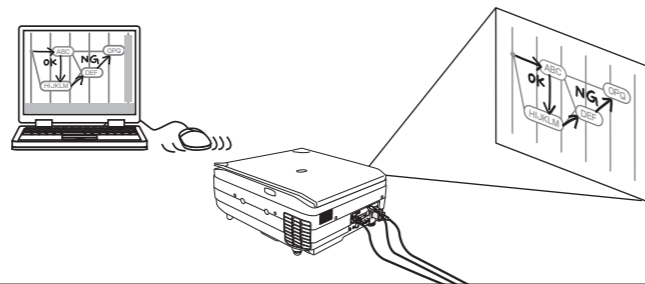
JPEG等の画像

a b c

画面キャプチャの画像

● ▲ □

画像に書き込む／ホワイトボードの画像を資料に!!



(※) iP Viewer は iP-65S モデルのみの機能です。

この装置は、VCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）のクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

商標について

NEC, PC-98 シリーズは日本電気株式会社の商標です。

IBM は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Macintosh, Power Book は、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windows は米国マイクロソフト社の商標です。

Adobe ロゴ及び Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステム) の商標です。

SD ロゴは登録商標です。

SanDisk および SanDisk のロゴは、サンディスク コーポレーションの商標または登録商標です。